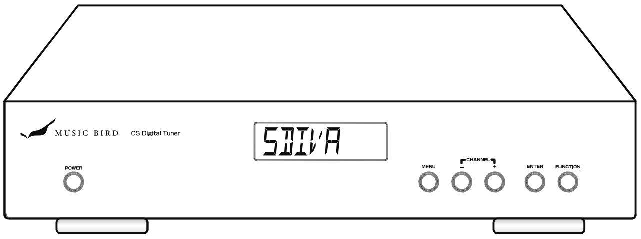
MUSIC BIRD

CS Digital Tuner **MDT-3CS**

取扱説明書



はじめに

本機はミュージックバード音楽放送専用CSチューナーです。
ミュージックバード受信用アンテナを通信衛星JCSAT-2Aに向けて設置し、同梱のスマートカードを本機背面に挿入し、契約をいただきますとお手持ちのアンプ、スピーカーに接続するだけでミュージックバード音楽放送をお楽しみいただけます。無料チャンネル(200ch)は契約しなくてもお聴きいただけます(アンテナの方向調整などにご利用いただけます)。

CSテレビ放送やBSテレビ放送の受信はできませんのでご注意ください。
本サービスは日本国内向けです。国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

目次

はじめに・目次

1.1 付属品を確認する ― P2
1.2 安全のために ― P3

2.1 各部の名称と働きー本体ー ― P6
2.2 各部の名称と働きーリモコンー ― P7

3.1 使用するまでの準備ー受信契約ー ― P8
3.2 使用するまでの準備ースマートカードー ― P9
3.3 使用するまでの準備ーリモコンー ― P10
3.4 使用するまでの準備ーアンテナを設置するー ― P11
3.5 使用するまでの準備ー旧チューナーと交換するー ― P13
3.6 使用するまでの準備ー旧チューナーと併設するー ― P15
3.7 使用するまでの準備ー初期設定をするー ― P16
3.8 使用するまでの準備ーアンテナを微調整するー ― P18

4.1 便利な機能を使うータイマープレイ機能ー ― P19
4.2 便利な機能を使う―スリープタイマー機能― ― P23

5.1 その他の設定ー表示の明るさを調整するー ― P24
5.2 その他の設定ーリモコンを無効にするー ― P25
5.3 その他の設定ースタートチャンネルを設定するー ― P26
5.4 その他の設定ー番組情報を更新するー ― P28

6.1 困ったときはー工場出荷設定に戻すー ― P29
6.2 困ったときはーエラー表示一覧表ー ― P30
6.3 困ったときはー症例別ー ― P31

7. よくある質問ーA001 が出て受信できないー ― P32

8. 本機の仕様 ― P33

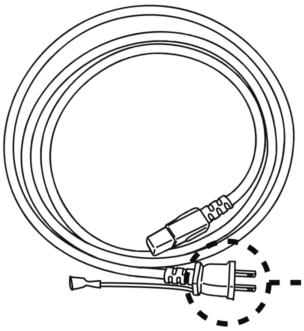
9. お問い合わせ先 ― P34

保証とアフターサービス

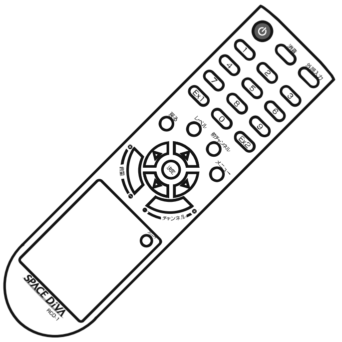
1.1 付属品を確認する

まず始めに付属品をご確認ください

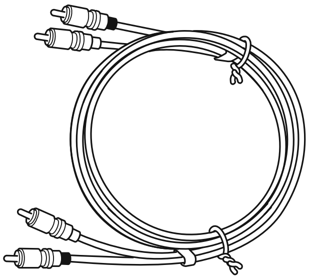
（本書）



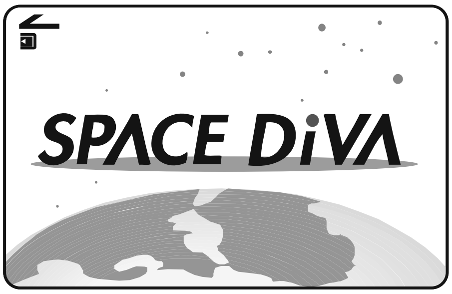
（電源ケーブル）



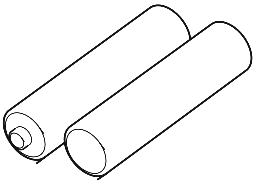
（リモコン）



（オーディオケーブル）

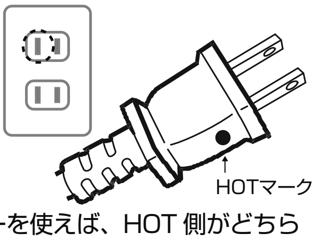


（スマートカード）



（単四乾電池）

電源ケーブルの HOT マークについて



本機に添付されております電源ケーブルは電源プラグの片側に白いマーキングが施されています。これは本機の HOT 側を示しています。

家庭用コンセントのプラグの差込口の片側はもう片方と比べ大きくなっています。一般に大きくなっている方を HOT とし、その反対側を COLD として配線工事がされていますが、建物により HOT,COLD が正しく管理されていない場合もあります。ホームセンターなどで市販されている検電ドライバーを使えば、HOT 側がどちらか調べることができます。

オーディオ機器の電源コード（特にアンプなど）は HOT,COLD を正しく接続したほうが音質が良く感じることがありますので、コンセントの差込口をご確認の上、ぜひお試しください。

1.2 安全のために

本機を安全にご使用いただくためにお守りいただきたいことが記載されています

■表示について

本書では誤った使い方をすると想定される危険性別に記号を用いて説明しています。
使用している記号は次のとおりです。

⚠警告・・・・ 誤った使い方をすると、火災や感電などにより、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意・・・・ 誤った使い方をすると、怪我をしたり、家財に損傷を与えたりする可能性が想定される内容です。

高温注意　感電注意 ・・・・ これらのマークは注意を促しています。

分解禁止　ぬれ手禁止 ・・・・ これらのマークは禁止事項を示しています。

電源プラグを抜く　必ずする ・・・・ これらのマークは必ず実施しなくてはならないことを示しています。

⚠警告

異常がある状態で使用しない

故障の際や次のような場合は使用せずに、すぐに電源プラグを抜き、当社までメンテナンスを依頼してください。

電源プラグを抜く

・発煙している、異臭がする、変な音がする
・本機に液体がかかった、内部に異物が混入した
・本機を落とした

キャビネットを開けない、分解しない

分解禁止

お客様自身による内部の点検や改造は、火災や感電の原因となります。
点検のご依頼や修理は当社までご相談ください。

⚠警告

本体の上にものを置かない

使用中は温度が上昇することがあります。効率よく排熱できるよう、本機上面にものを置かないでください。また、次のことをお守りください。

禁止

・本機の上部に物を置かない
・本機の全面および背面に 20cm 以上の十分な隙間を設ける
・本機を発熱する物（アンプなど）の上に設置しない
・通風の無い環境で使用しない
・室温 35 度以上の環境で使用しない

水気のある場所で使用しない

本機に水滴や液体が混入すると、火災や感電の原因となります。次のことをお守りください。

水濡れ禁止

・浴室など湿度の高い場所で使用しない
・本機の上部や周辺に水や液体が入ったものを置かない
・水滴がかかる場所で使用しない
・加湿器の近くに設置するなど、水蒸気がかかる場所で使用しない

電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルの取り扱いを誤ると火災や感電の原因となります。次のことをお守りください。

禁止

・電源ケーブルを踏みつけたり、重いものを載せた状態で使用しない
・電源ケーブルを束ねた状態で使用しない
・電源ケーブルを加工したり、傷つけたり、引っ張ったりしない
・電源ケーブルをコンセントに接続した際、ゆとりがなく張り切った状態になるような場所に設置しない
・熱器具の近くなど、電源ケーブルが加熱されるような場所に設置しない

雷が鳴り出したら操作しない

禁止

雷が鳴っている際に本機やケーブル類、電源プラグなどに触れると感電のおそれがあります。

本機内部に異物を入れない

禁止

異物が混入すると、火災や感電の原因となります。特にお子様がいる環境ではご注意ください。

⚠注意

水平で十分な強度のある場所に設置する

禁止

本機は約 3.5kg の重量があります。不安定な場所に設置すると、思わぬ事故や怪我に繋がる恐れがあります。振動がなく、安定し、水平で十分な強度がある台に設置してください。

日本国内のみで使用する

禁止

本機は日本の標準電圧（交流 100V）で設計されています。表記の電源電圧以外で使用しないでください。

電源プラグは確実に差し込む

禁止

電源ケーブルや電源コネクタの取り扱いを誤ると火災や感電の原因になります。

屋外で使用しない

禁止

本機は室内で使用することを前提に設計されています。
本機に直射日光が当たるようなところでの使用を避けてください。

業務用途で使用しない

禁止

本機は民生機器です。業務用途で使用しないでください。

2.1 各部の名称と働き　－本体－

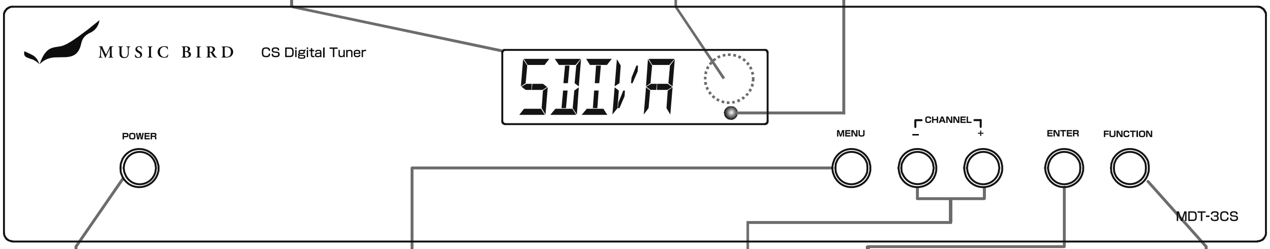
この項では本機に実装されているボタンや端子類について説明します

[フロントパネル]

表示部(LED ディスプレイ)
チャンネルやメニューなどを表示します。

リモコン受光部
リモコンの受光部になっています。ものでふさがないようにしてください。

スタンバイ LED
ミュージックバードの放送衛星以外を受信したことなどを示します。詳しくは 3.8 項を参照してください。



POWER ボタン
本機の電源をオンにしたり、スタンバイにしたりします。

CHANNEL ボタン
チャンネルを上げたり、下げたりします。長押しすると 10 ずつ変更できます。

FUNCTION ボタン
メニューモードから抜けたり、一つ前のメニューモードに戻ります。

MENU ボタン
各種設定を行うメニューモードを表示させたり、消したりします。

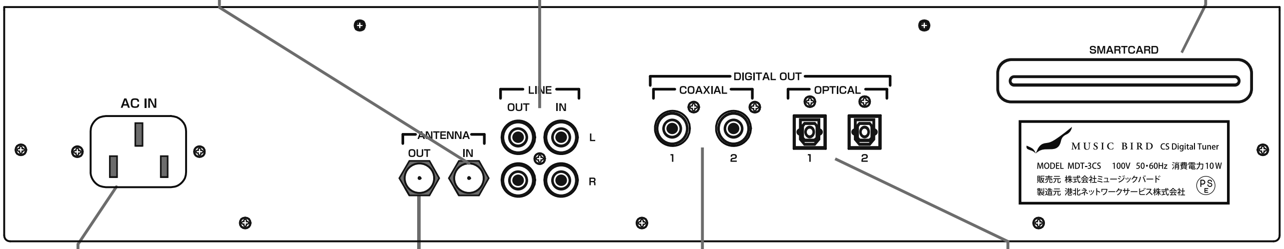
ENTER ボタン
メニューモードで設定変更時、変更を適用する際に使用します。

[リアパネル]

アンテナ入力端子
F型接栓で対応アンテナと接続します。

アナログ音声出力(左)/入力(右)端子
アナログ出力端子はアンプや録音機器にアナログ接続する際に使用します。入力端子はアナログ出力を持つ機器(CDプレーヤ等)を接続することができます。

スマートカード差込口
添付のスマートカードを予めここに差し込んで使用します。詳しくは 3.2 項を参照してください。



電源入力端子
付属のACケーブルでコンセントに接続します。

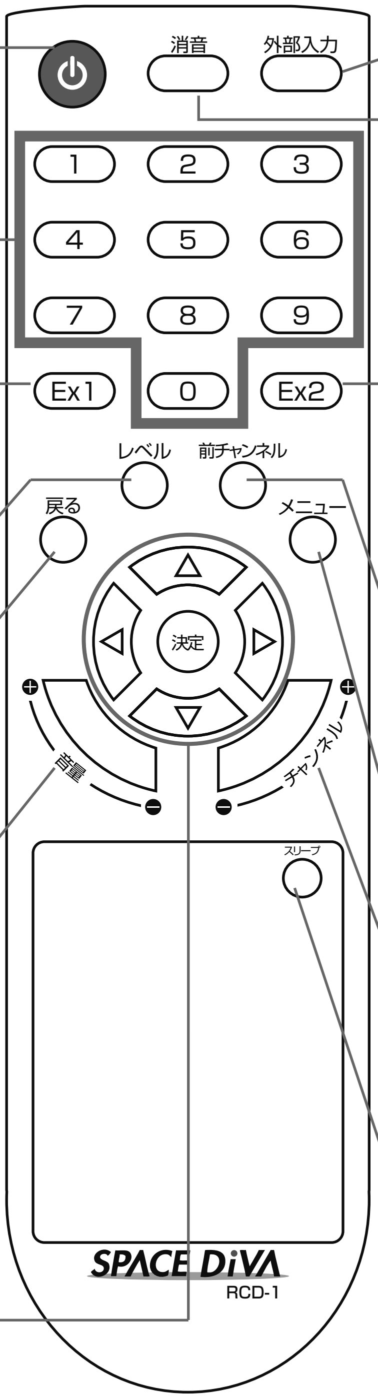
アンテナ出力端子
他のミュージックバードチューナーを接続する時に使用します。

同軸デジタル音声出力端子
S/PDIF に準拠しています
他の出力端子と同時に使用することができます。

光デジタル音声出力端子
S/PDIF に準拠しています。
他の出力端子と同時に使用することができます 。

2.2 各部の名称と働き　ーリモコンー

この項ではリモコンのボタンとその機能について説明します



電源ボタン

本機の電源をオンにしたり、スタンバイにしたりします。

数字ボタン

チャンネルを直接入力したり、各種設定時に数字を入力するのに使用します。
例えば、[The Classic] を聴取する場合は１・２・１と入力します。

Ex1 ボタン

使用していません。

レベルボタン

受信レベルを表示します。

戻るボタン

メニューから抜けたり、一つ前のモードに戻ります。

音量調整ボタン (*1)

本機の LINE OUT(アナログ音声出力) の出力音量を変更できます。但し、音量調整はアンプ側で行ったほうがより高音質でお楽しみいただけます。その際は、本機を最大音量にしてご使用ください。

方向ボタン・決定ボタン(*2)

左右ボタンはメニューモードの項目選択に使用します。
決定ボタンは選択されている項目で確定する際に使用します。
上下ボタンは CH を送ることができます。

外部入力ボタン

本機の LINE IN（アナログ音声入力）に入力した音声に切り替えます。画面の表示は AUX と表示されます。もう一度押すと元に戻ります。

消音ボタン

音声をミュート（消音）します。消音中は画面表示が点滅します。もう一度押すと元に戻ります。※デジタル接続でご使用の場合、操作しても消音になりません。

Ex2 ボタン

使用していません。

前チャンネルボタン

一つ前に聴いていたチャンネルに戻れます。

メニューボタン

各種設定を行う為のメニューモードを表示させたり、消したりします。

チャンネルボタン

＋側を１回押すとチャンネルが一つ上がり、側を押すと一つ下がります。長押しすると 10 ずつ変更することができます。

スリープボタン

本機を聴取状態からスタンバイ状態へ移行する時間を設定できます。ボタンを押す度に OFF・30 分・60 分となります。

※１)本機とアンプなどをデジタル接続(光デジタル音声出力または同軸デジタル音声出力)で接続している場合、音量調整ボタンを操作しても音量が変更されることはありません。

※2)スタンバイ時やチャンネル表示中に決定ボタンを押すと、時刻表示に変わります。再度、決定ボタンを押すと元の表示に戻ります。

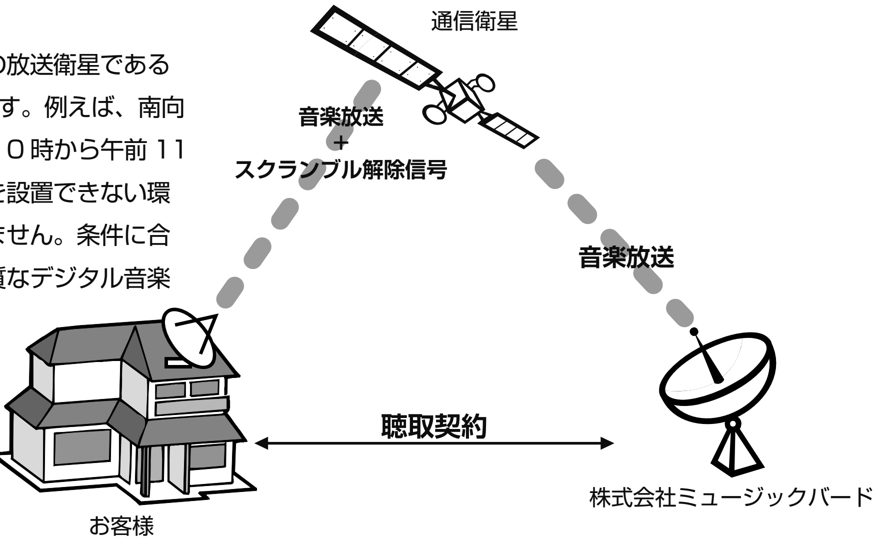
3.1 使用するまでの準備―受信契約―

この製品を使用するにはまずミュージックバードとの契約が必要です。

ミュージックバードとは

ミュージックバードとは TOKYO FM コミュニケーションズグループ 株式会社ミュージックバードが放送している有料の衛星音楽放送です。

受信するには、ミュージックバードの放送衛星であるJCSAT-2A を受信できる環境が必要です。例えば、南向きに高い建物が建っている場所や午前 10 時から午前 11 時に太陽を直視できる場所にアンテナを設置できない環境などでは放送を受信することができません。条件に合致する環境であれば、日本全国で高音質なデジタル音楽放送をお楽しみいただけます。



推奨アンテナとアンテナの設置について

ミュージックバードを受信するには専用の CS パラボラアンテナが必要です。

本機はアンテナの局部発振周波数が 11.3GHz, 11.2GHz, 11.116GHz で垂直偏波が受信できるパラボラアンテナに対応しています。

弊社ではミュージックバード製パラボラアンテナ「DMB4503」を推奨しております。受信アンテナをお持ちでない場合は本機をお買い求めになった販売店までご相談ください。

アンテナの設置については 3.4 項を参照してください。

ミュージックバード
DMB4503

聴取契約について

本機を購入して、まだミュージックバードとの聴取契約をされていない方は次の窓口までお問合せの上、契約手続きを完了させてください。

なお、お問い合わせの際はチューナー ID とスマートカード ID が必要です。チューナー ID とスマートカード ID 番号はチューナー背面部に記載されています。

ご契約に関するお問い合わせは…

ミュージックバードカスタマーセンター　　TEL：03-3221-9000

受付時間　＜ 平 日 ＞10：00 ～ 19：00（12：00 ～ 13：00 を除く）
＜土日祝日＞10：00 ～ 18：00（12：00 ～ 13：00 を除く）

3.2 使用するまでの準備ースマートカードー

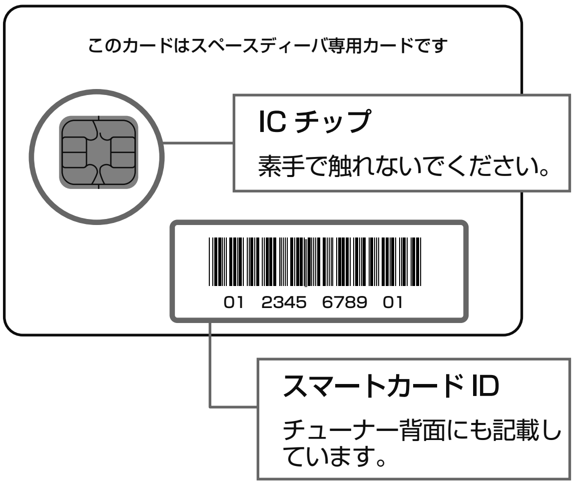
スマートカードは必ず本機にセットして使用します

スマートカードについて

スマートカードはお客様の契約内容を一意に識別する大切なカードです。契約内容を一意に識別するためのコードをスマートカードIDといいます。スマートカードIDはカード裏面にバーコードと共に印字されています。

またこのスマートカードは本機のチューナー基板とひと組で使用されることを前提とした情報が互いに書き込まれているため、他のチューナーで使用することはできません。

スマートカードにはICチップが内蔵されています。この箇所には素手で触れないよう、ご注意ください。

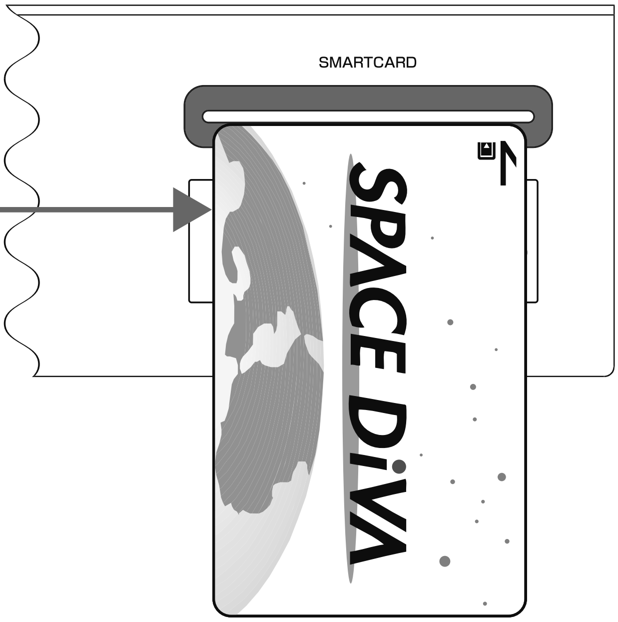


スマートカードをセットする

スマートカードは本機をACコンセントに接続していない状態で左図の要領で本機に確実に挿入してください。

カードの入れ方

必ず電源ケーブルを抜いた状態で、スマートカードの絵柄を表にし、カードの矢印の方向に置くまで差し込みます。



チューナを識別する2つの番号　ーチューナーIDとスマートカードIDー

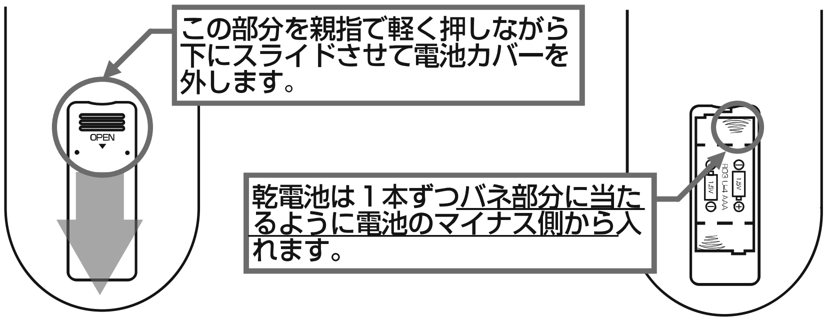
本項に記載しているスマートカードIDのほかに、チューナーIDという番号があります。
チューナーID番号はSNから始まる、本機のシリアル番号です。

3.3 使用するまでの準備ーリモコンー

添付のリモコンについてご使用前に知っておいていただきたいことを説明します

リモコンに電池を入れる

初めて本機をご購入された場合は付属の単四乾電池をリモコンにセットする必要があります。



リモコンの電池は……

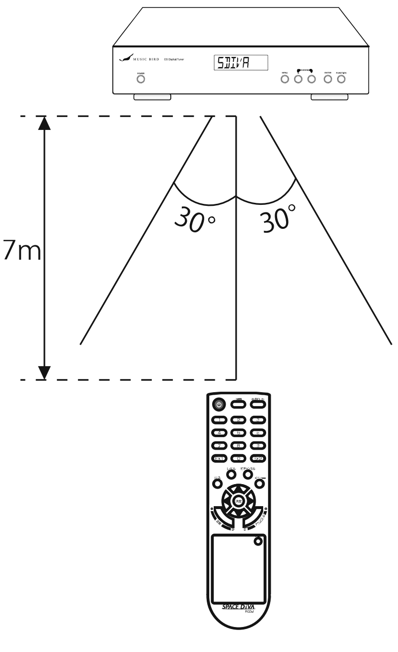
リモコンの電池を購入する際は、アルカリ電池よりもマンガン電池を推奨します。小さな電力を断続的に使用する電池の場合にはマンガン電池のほうがアルカリ電池よりも長持ちし、液漏れの恐れもありません。石油ストーブの電池やガスコンロの電池などもマンガン電池のご使用がお薦めです。

リモコンの有効範囲

リモコンは本機正面から 7m以内、角度は左右それぞれ 30°以内の範囲で使用してください。

また、この範囲でご使用されていても、使用環境によっては到達距離が短くなったり、リモコンが効きにくくなったりする場合がありますので、次の点にご留意ください。

・本機とリモコンの間に障害物を置かないこと
・本機の受光部やリモコン先端部にほこり等を付着させないこと
・本機正面に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないこと



リモコンの故障防止のために

リモコンの故障を防ぐために次のことに留意してご使用ください。

・分解、改造をしないこと
・リモコンの上に重いものを載せないこと
・直射日光が当たるところに長時間放置しないこと
・リモコンに液体などをこぼさないこと

他社製のミュージックバード対応チューナーと本機を併設してご利用される方へ

付属のリモコンはミュージックバード対応チューナー全般に使用することができます。その為、複数台のミュージックバードチューナーを並べて設置されている場合は、１つのリモコンで行った操作がほかのチューナーにも適用されてしまいます。

この問題はチューナーユニットの仕様に基づくものであり、根本的な解決方法はありませんが、「複数台のチューナーの電源を同時に入れない」、「リモコン操作したくないチューナーでリモコン機能を無効にする設定をする」といったことで回避することができます。

後者の設定方法についてはそのチューナーの取扱説明書をご参照ください。本機において、リモコンの無効設定を行う場合は 5.2 項を参照してください。

リモコンの単品購入について

添付のリモコンは単品購入することが可能です。ミュージックバードカスタマーセンターまでお問い合わせください。

3.4 使用するまでの準備−アンテナを設置する−

以前からミュージックバードに契約されている方は 3.5 項に進んでください

0. 事前準備

前項までの準備（スマートカードを挿入する、リモコンに電池を入れる）を終えていることを確認してください。

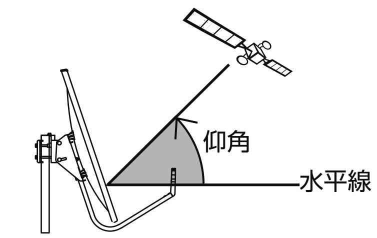
またアンテナはミュージックバード対応 CS アンテナをお使いください。推奨アンテナはミュージックバード DMB-4503 です。対応アンテナの御購入については本機をお買い求めの販売店までご相談ください。

実際の設置作業にあたってはご使用になるアンテナの取扱説明書を良くお読みください。なおアンテナの設置作業がご自身で困難な場合は、有償の設置サービスをご利用いただくことも可能です。ご希望される場合は、ミュージックバードカスタマーセンターまでご依頼ください。

1. アンテナを設置する

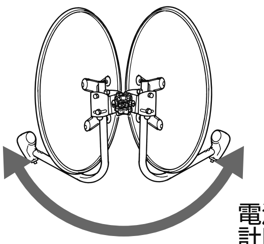
市販のアンテナ取付金具などを用いてアンテナを設置します。アンテナを正しい方向に設置するには仰角（ぎょうかく）と方位角、偏波面の傾き角の３つの角度を、お住まいの地域に合わせて調整する必要があります。各地域のそれぞれの角度の値は下記の表を参照してください。

●仰角



電波の来る方向を水平面から見上げたときの角度です。アンテナ面と傾きとは必ずしも一致しません。

●方位角



電波の来る方向を真北を基準に時計回りに計った角度です。

●偏波面の傾き角

方位磁石を使って方位を調整する時は・・・

方位磁石が示す北（磁北）は真北より少し西側にずれています。そのため、方位磁石を使って方位を求める時は、下記表の方位角の値に 6.5 度を足してください。

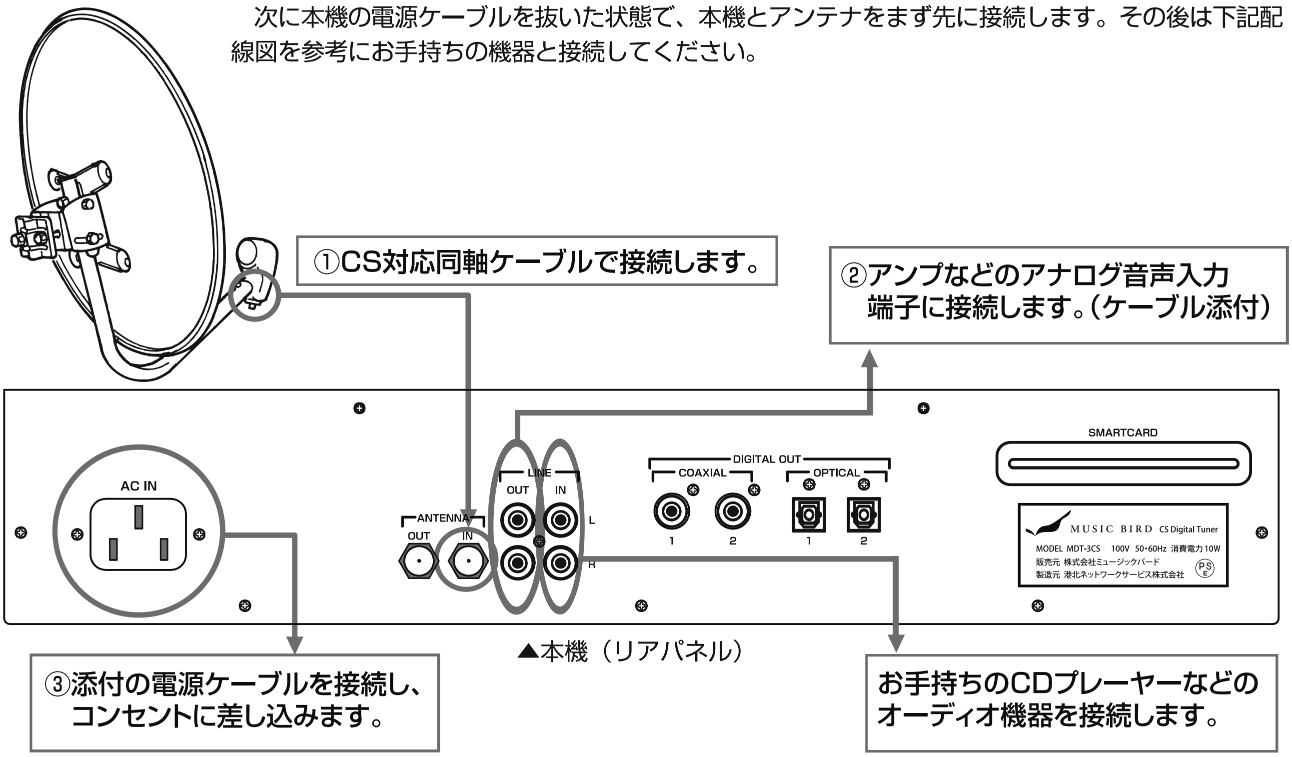
都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角
稚　内	36	163	18	大　宮	46	156	11	津	46	151	7	徳　島	45	148	1
旭　川	38	163	18	東　京	46	157	11	大　津	45	150	6	高　知	45	145	2
札　幌	39	162	17	千　葉	46	157	12	京　都	45	150	6	松　山	45	146	2
函　館	40	160	16	横　浜	46	156	11	和歌山	45	149	5	福　岡	43	142	1
青　森	41	160	15	新　潟	44	157	12	奈　良	45	150	6	大　分	45	143	0
盛　岡	42	160	15	甲　府	45	155	10	大　阪	45	150	5	佐　賀	44	141	-2
秋　田	42	159	14	富　山	44	153	9	神　戸	45	149	5	長　崎	44	140	-1
山　形	43	159	13	金　沢	44	152	8	鳥　取	44	148	5	熊　本	44	142	-1
仙　台	44	159	14	福　井	44	151	7	岡　山	44	147	4	宮　崎	46	142	-2
福　島	44	159	13	岐　阜	45	152	7	広　島	44	145	2	鹿児島	45	140	-3
宇都宮	45	157	12	長　野	45	154	10	山　口	44	144	1	名　瀬	47	136	-8
水　戸	46	158	12	静　岡	46	154	9	松　江	43	147	3	那　覇	48	132	-12
前　橋	45	156	11	名古屋	45	152	7	高　松	45	147	3	石　垣	46	126	-18

※表記の値は真北からの角度です。

2. アンテナを本機に接続する

作業前に 3.2 項のスマートカードが本機に正しく挿入されていることを確認してください。

次に本機の電源ケーブルを抜いた状態で、本機とアンテナをまず先に接続します。その後は下記配線図を参考にお手持ちの機器と接続してください。



▲本機（リアパネル）

3. 初期設定をする

まだ微調整をしていないので、受信できるレベルにアンテナの位置が合っていない場合がありますが、本機の初期設定を行い、衛星を受信できるよう設定した状態でアンテナ方向の微調整を行う必要があります。まず3.7項に進んでください。

4. アンテナの微調整をする

初期設定を一通り終えたら、アンテナを調整して最も受信レベルが高い方向に合わせます。3.8 項に進んでください。

3.5 使用するまでの準備－旧チューナーと交換する－

旧チューナーと本機を併用する方は 3.6 項へ進んでください。

0. 事前準備

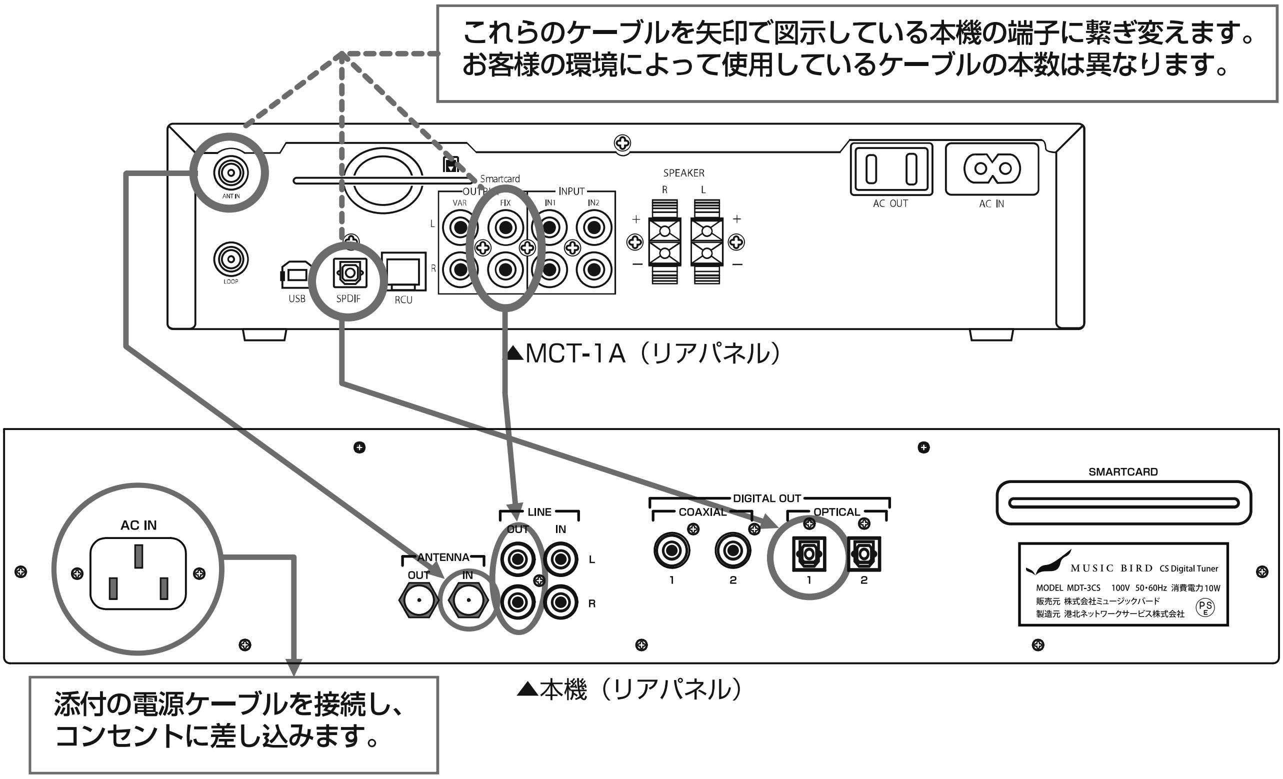
　チューナーの交換作業を行う前に、前項までの準備（スマートカードを挿入する、リモコンに電池を入れる）を終えていることを確認してください。

　次に、旧チューナーで十分なレベルでアンテナからの信号を受信できていること、また正常に放送が受信できており、音声信号がスピーカーより出力されていることを確認してください。

1-A.　MCT-1A を使用している場合　（CDT-1A 系をご使用の方は次項をお読みください）

MCT-1A の電源を切り、次の要領でケーブルを交換してください。

MCT-1A に接続されているケーブルで、下図において図示されていないものは取り外します。



⇒作業が終わりましたら、3.7 項に進んでください。

留意事項

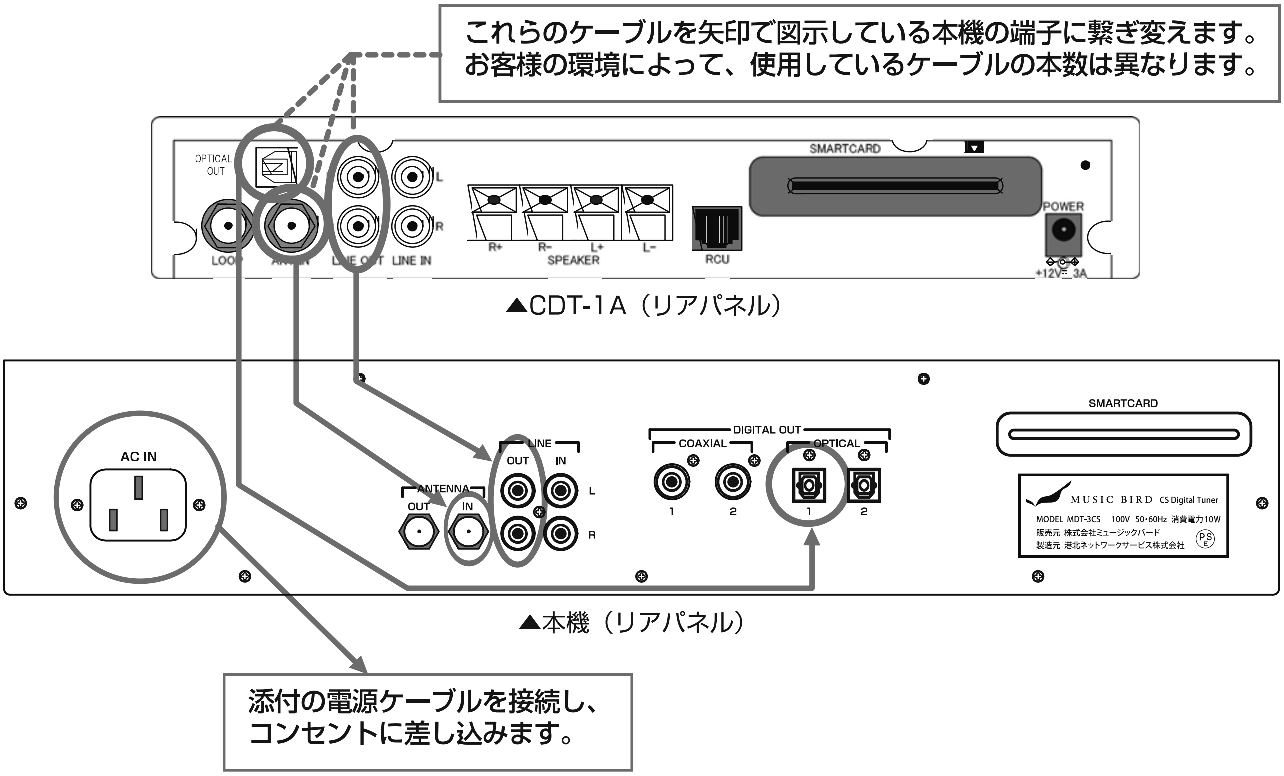
・本機にはスピーカー出力端子はありません。スピーカーを MCT-1A に接続してご利用されていた方は、市販のアンプをお買い求めください。
・本機には AC 出力コンセントはありません。当該端子をご利用されていた方はコンセントの空きをご使用いただくか、市販のテーブルタップをご利用ください。
・MCT-1A にセットされていたスマートカードは必ずご使用されていた MCT-1A とペアにして保管してください。本機のスマートカードと入れ違いにならないようご注意ください。
・デジタル音声接続では本機と接続する機器によっては相性問題を生じる場合があります。
・本機のデジタル音声出力はコピーワンス（1 回のみ録音可）保護が適用されています。
・あなたが本機を利用して録音したものは、個人的に楽しむなどのほか、著作権者に対し無断で使用することは法律で禁じられています。

1-B.　CDT-1A 系を使用している場合　（MCT-1A をご使用の方は前項をお読みください）

CDT-1A, CDT-1AM, CDT-1AMD が対象です。ここでは総称して CDT-1A と表記します。挿絵は CDT-1AMD をベースに説明していますが、ほかのチューナーも光デジタル音声出力端子が無いだけで作業内容は変わりません。

では、CDT-1A の電源を切り、次の要領でケーブルを交換してください。

CDT-1A に接続されているケーブルで、下図において図示されていないものは取り外します。



▲CDT-1A（リアパネル）

▲本機（リアパネル）

⇒作業が終わりましたら、3.7 項に進んでください。

留意事項

・本機にはスピーカー出力端子はありません。スピーカーを CDT-1A や 1AM/AMD に接続してご利用されていた方は、市販のアンプをお買い求めください。
・CDT-1A 系にセットされていたスマートカードは必ずご使用されていたチューナーとペアにして保管してください。本機のスマートカードと入れ違いにならないようご注意ください。
・デジタル音声接続では本機と接続する機器によっては相性問題を生じる場合があります。
・本機のデジタル音声出力はコピーワンス（１回のみ録音可）保護が適用されています。
・あなたが本機を利用して録音したものは、個人的に楽しむなどのほか、著作権者に対し無断で使用することは法律で禁じられています。

3.6 使用するまでの準備－旧チューナーと併設する－

旧チューナーと本機を並べて使用する際の接続について説明します

0. 事前準備

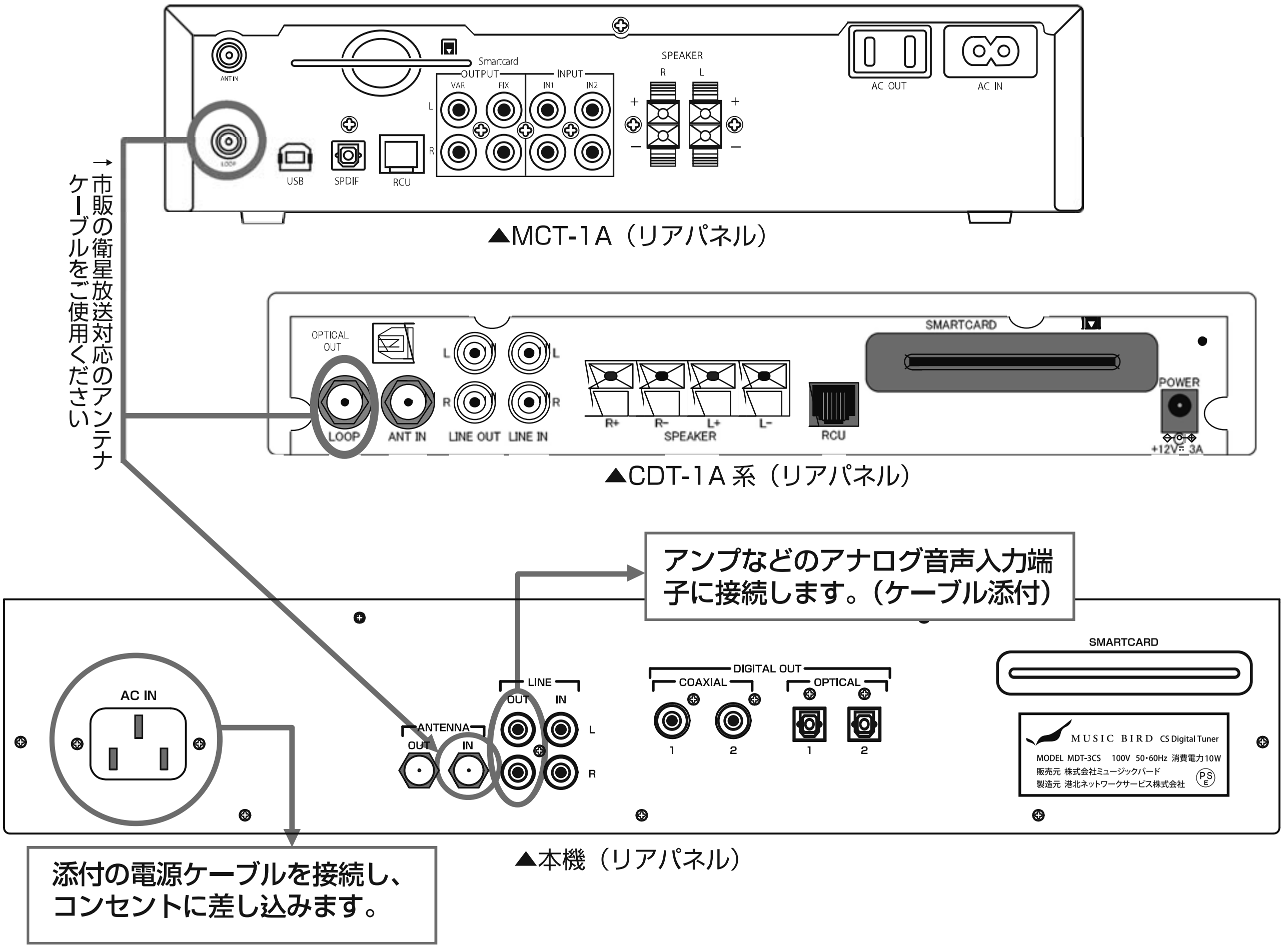
本機の設置作業を行う前に、前項までの準備（スマートカードを挿入する、リモコンに電池を入れる）を終えていることを確認してください。

次に、旧チューナーで十分なレベルでアンテナからの信号を受信できていること、また正常に放送が受信できており、音声信号がスピーカーより出力されていることを確認してください。

> **チューナーを複数台使用するときの聴取契約について**
>
> ミュージックバード対応チューナーを複数台使用する場合は、使用台数分の聴取契約が必要です。MCT-1A の曲目表示機能だけを利用したい場合でも、曲目情報はスクランブルを解除しないと表示できないので、聴取契約が必要になります。
>
> ２台目の聴取契約は１台目の聴取契約の半額になります。
>
> 詳しくはミュージックバードカスタマーセンター（03-3221-9000）までお問い合わせください。

１. アンテナケーブル、オーディオケーブルなどを接続する

現在設置されているチューナーの電源を切り、次の要領でケーブルを接続してください。（接続図は一例です。）



▲MCT-1A（リアパネル）

▲CDT-1A 系（リアパネル）

▲本機（リアパネル）

２. 本機の初期設定を行う

本機の初期設定をして衛星を受信できるようにします。3.7 項の初期設定に進んでください。

その際、アンテナコンバーター動作電源の供給設定を行いますが、上記のように複数のチューナーを併設して使用している場合、アンテナ接続端子（ANT IN）に接続されている機器の電源供給設定を ON にし、それ以外のチューナーの設定は OFF にするようにして設定してください。

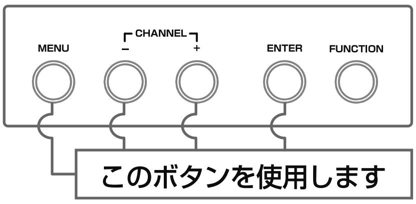
3.7 使用するまでの準備－初期設定をする－

お使いのアンテナに合わせた受信設定が必要です

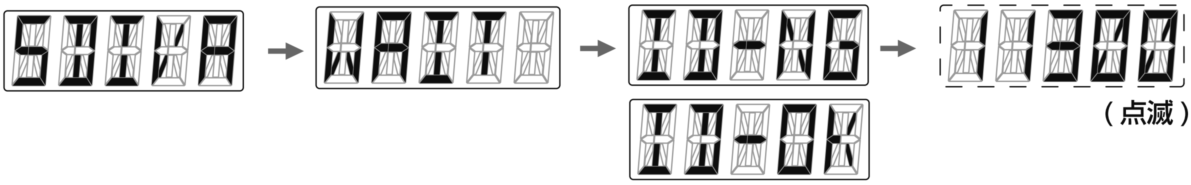
0. 事前準備

前項までで、すべてのケーブルの接続を終えたら、本機をコンセントに接続してください。接続から約 15 秒経過したら、本機の POWER ボタンを押します。その後は下記手順に従い初期設定を行う必要があります。

ここでは、本機前面のボタンを操作して設定作業を進めます。主に使用するボタンは次の４つです。左から MENU ボタン、－（マイナス）ボタン、＋（プラス）ボタン、ENTER ボタンと表記します。



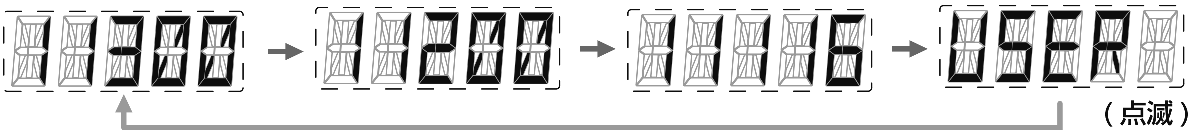
１. 本機の POWER ボタンを押すと、ディスプレイが次のような表示に変わります。



(点滅)

(どちらでも可)

２. 点滅している値はアンテナの局部発振周波数を示しています。お使いのアンテナの取扱説明書などに記載の周波数に、本機の－（マイナス）ボタンと＋（プラス）ボタンで合わせます。これらのボタンを押すたびに表示が次のように変わります。



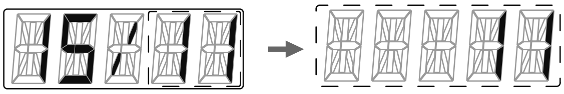
(点滅)

当社、推奨アンテナ DMB4503 は 11300 です。お使いのアンテナに周波数を表示させたら、ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと点滅が停止します。
もう一度、ENTER ボタンを押すと、選んだ周波数で固定され、次の画面に進みます。

USER について

"USER" が点滅しているときに ENTER ボタンで決定すると、アンテナの局部発振周波数をリモコンの数字ボタン（0～9）で入力することができます。入力中は点滅表示になります。入力後、ENTER ボタンで確定します。

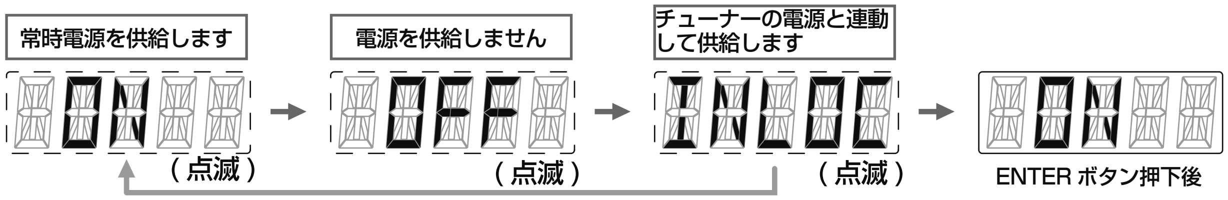
3. 次にアンテナのコンバーター動作電圧の設定に入ります。下図のように表示され 15 または 11 が点滅しています。－ボタンと＋ボタンで動作させたい電圧を点滅させます。目的の電圧が点滅したら ENTER ボタンを押します。点滅が停止し、設定電圧のみの表示になります。DMB4503 をお使いの場合はどちらの電圧でも構いません。もう一度、ENTER ボタンを押すと、選んだ電圧で決定され、次の画面に進みます。



コンバーター動作電圧の設定について

アンテナコンバーター動作電圧はアンテナの取扱説明書に記載されています。２台のチューナーを１台のアンテナで使用するなどの場合、本機から電源を供給させたくない場合がありますが、電源供給の設定は次項で行いますので、ここでは仮に供給した場合の電圧で設定しておいてください。

4. コンバータ電源の供給設定をします。−ボタンと＋ボタンで３つの動作モードから使用環境に適合した設定を選び、ENTER ボタンで確定してください。確定すると点滅が点灯に変わります。１台のアンテナで１台のチューナーを使用する場合など、通常は ON に設定します。もう一度 ENTER ボタンを押すと選んだ供給電源が決定され、次の画面に進みます。



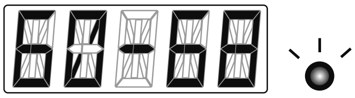
5. 衛星受信レベルが表示されます。ここで緑色の LED ランプが点灯し、受信レベル 60 以上であることを確認してください。次の場合はアンテナを微調整してください。微調整する方法については 3.8 項を参照してください。

・緑色の LED ランプが点灯しているが、アンテナレベルが 60 に満たない場合

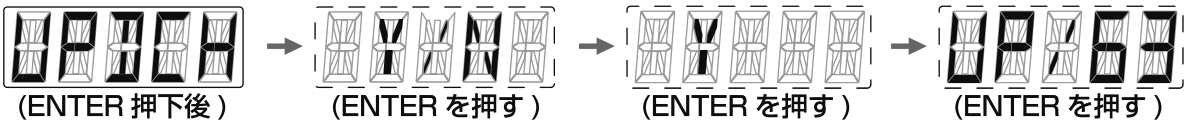
・OTHER と表示されている場合

・緑色の LED ランプが点滅または消灯している場合

受信レベルが極端に低いか、または 0 の場合は、アンテナとの接続、設定した内容などをご確認ください。レベル表示の左側は現在値、右側はピーク値を示しています。



6. 受信レベルが十分であることを確認したら、ENTER ボタンを押してください。番組情報更新を行います。Y/N と表示されるので、Y が点滅されている状態で ENTER ボタンを押します。Y だけの表示になりますので、さらに ENTER ボタンを押します。UP/＊＊という表示に変わり、更新が始まります。



7. 更新が完了すると、CH200 を自動的に受信します。アンプの電源などを入れ、音声を確認します。音声が確認できたら、このままの状態でミュージックバードカスタマーセンター（03-3221-9000）にお電話をお掛けいただき、本機を設置・交換した旨をご連絡ください。その際、本機のチューナー ID とスマートカード ID が必要です。同梱のバーコードがついたシールに記載してありますので ID をご確認いただいた上でオペレータにお伝えください。スクランブル解除手続きを行います。

※受信できていない場合、画面表示が UPDCH に戻ります。その場合は、アンテナの設定を確認してください。正しく設定されている場合、レベル画面を表示させてアンテナの方向調整をしてください。調整後十分なレベル（60 以上）になりましたら、再度、番組情報更新を行ってください。

本機のチューナー ID とスマートカード ID

ここに添付の ID シール を貼ると便利です	ここに添付の ID シール を貼ると便利です

チューナー ID は SN から始まる番号、
スマートカード ID は ID から始まる番号です

3.8 アンテナの微調整をする

アンテナを初めて設置した際や台風などでアンテナがずれた場合、調整が必要です

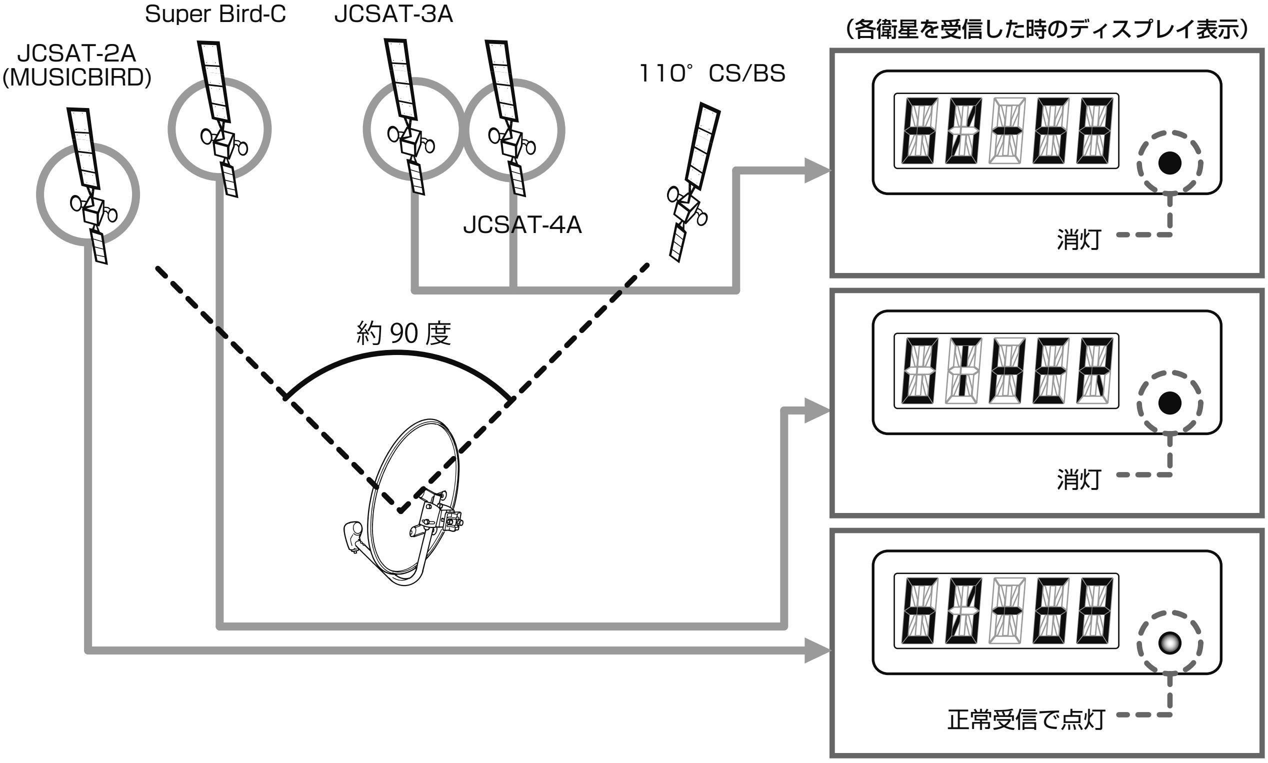
0. 事前準備

本機のレベル表示機能を使って調整を行います。これまでの項を参照して、使用しているアンテナに合致した受信設定がされていることを確認し、レベル表示モードにしてアンテナを調整します。

1. まず偏波面の傾き角を合わせます。角度は 3.4 項の表を参照してください。

2. 次に仰角を合わせます。角度は 3.4 項の表を参照してください。

3. 最後に方位角を合わせます。ミュージックバードの放送衛星は、アンテナの裏面から見て、BS の放送衛星の 90 度左側に位置します。そのため、近隣の建物に設置されている BS アンテナの向きを参考にして、そこから 90 度左側に向けて下さい。そこから、ゆっくりゆっくり右側にずらしながら、受信レベルが最も高くなる位置に方位角を調整してください。本機はアンテナの動きに即座に反応し、受信レベルを表示させることができません。そのため、方位角を調整する際は、1 度ずらしてアンテナを仮止めしレベル表示が反応するまで少し待つなど、少しずつ慎重に調整してください。



4. だいたいの方角をつかめたら、最後に仰角と方位角を再度、微調整してみて、値が最も高くなる位置に合わせます。

5. 微調整が終わったらアンテナを固定するボルトをしっかりと締め付けてください。

※レベル値が表示された状態で本機のチャンネル＋（プラス）ボタンを１回押すと設定したアンテナの局部発振周波数が表示されます。さらにもう１回押すと、設定したアンテナのコンバータ電圧が表示されます。もう一度押すと元のレベル 表示に戻ります。

4.1 便利な機能を使う－タイマープレイ機能－

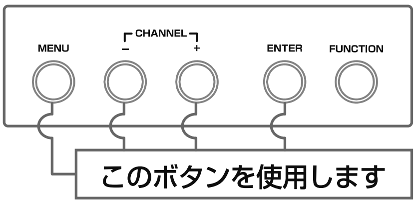
いつも聴きたい番組を自動で再生できます

タイマープレイについて

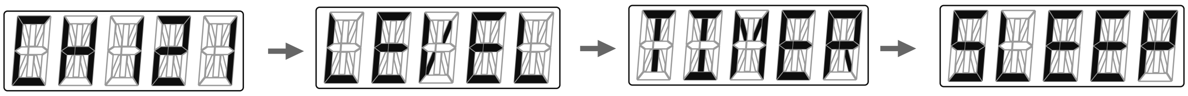
　タイマープレイ機能とは、ご希望のチャンネル、開始時間または終了時間を本機に予め入力し設定することで自動的に本機を ON または OFF する機能です。

　タイマープレイ設定は 16 パターン記憶させることができます。（開始と終了はそれぞれ 1 パターンとしますので、8 種類のスケジュール運転ができることになります。）

　まずタイマープレイの設定方法についてご案内します。登録した内容の削除については本項後半に記しています。

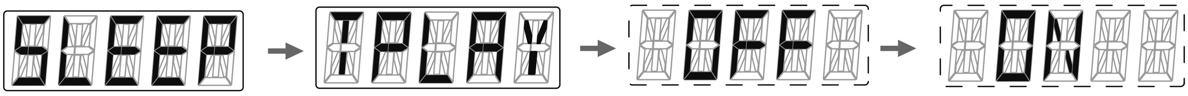


1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、－ボタンと＋ボタンで TIMER という表示に切り換えます。
MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると２回、＋ボタンで送ると５回押すと TIMER 表示になります。
TIMER 表示になったら ENTER ボタンを押します。



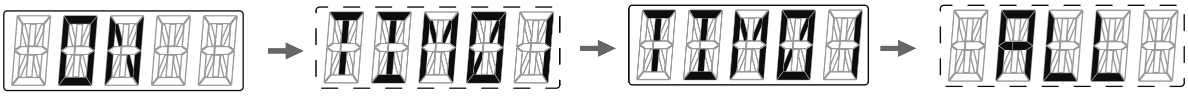
（起動後）　(MENU 押下後）　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後）

2.SLEEP と表示されている状態で、－ボタンか＋ボタンを１回押します。TPLAY という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。もう１度－ボタンか＋ボタンを１回押し、ON 表示に変えます。OFF にすると、タイマープレイ機能が無効になります。



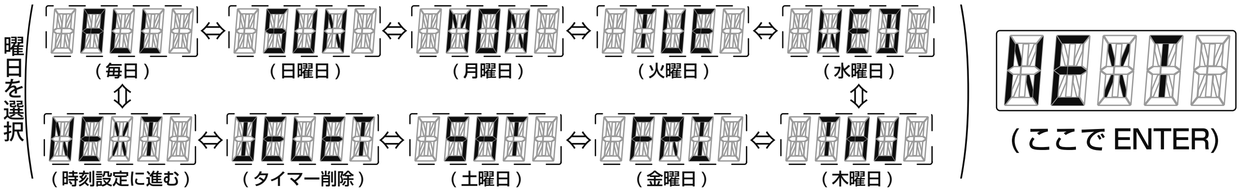
（前項より）　(－ボタン１回）　(ENTER 押下後）　(－ボタン１回）

3. 前項で ON 表示にしたら、ENTER ボタンを押します。すると、点滅から点灯に変わります。この状態で、さらに ENTER ボタンを１回押します。TIM01 という表示に変わり、01 の表示が点灯します。－ボタンか＋ボタンを押すことで、TIM01 ～ TIM16 まで選ぶことができます。これは登録できるタイマーの管理番号を示しています。ここでは仮に TIM01 を選択します。TIM01 が表示されたら ENTER ボタンを２回押します。



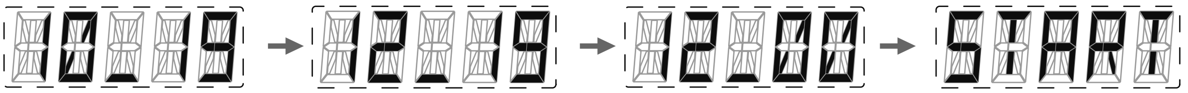
(ENTER 押下後）　(－ボタンで選択、01 の表示が点滅）　(ENTER ボタン押下後、01 の表示が点灯）　(ENTER 押下後）

4.ALL と点滅表示している状態で、－ボタンと＋ボタンで設定したい曜日を表示させます。目的の曜日が表示されたら ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押された曜日は、曜日の前に [＊] が表示されます。ALL を選択すると、全ての曜日に＊がつきます。選択が終了したら、－ボタンか＋ボタンで NEXT が表示されるまで送ります。表示されたら ENTER ボタンを押し、次の時刻設定に進みます。（曜日選択をしないと次に進むことはできません。）



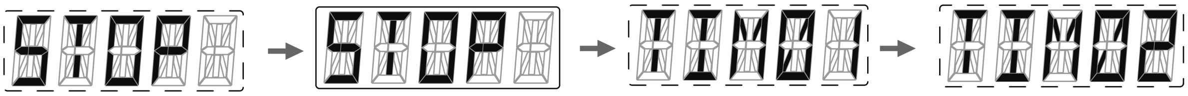
(ここで ENTER)

5. 前項で NEXT から ENTER ボタンを押すと、時刻設定に入ります。ここでは8時 30 分から 12 時ちょうどまでタイマープレイを設定すると仮定します。ここでは終了時間から設定します。現在の表示は現在時刻になっていますので、−ボタンか＋ボタンで　12　となるまで送り､ENTERボタンで確定させせます。続いて、−ボタンか＋ボタンで　00　となるまで送り、ENTER ボタンで確定させせます。



(現在時刻)　(時間から設定)　(分数を設定)　(ENTER 押下後)

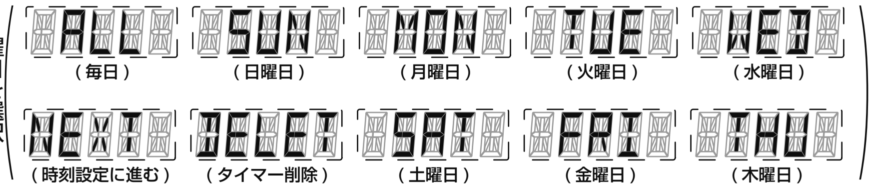
6. 前項で ENTER ボタンを押すと、START と点滅表示されるので−ボタンか＋ボタンを押し、STOP 表示に変え、ENTER ボタンを押します。更に ENTER ボタンをもう 1 回押すと表示が TIM01 に変わります。ここまでで、TIM01 には 12 時に本機の動作を停止させることを記憶させたので、TIM02 に対して 8 時に起動させることを登録することにします｡−ボタンか＋ボタンを押し、TIM02 を表示させ、ENTER ボタンで確定します。



(−ボタンで押下後、STOP の表示が点滅)　(ENTER 押下後、STOP の表示が点灯)　(ENTER 押下後、＋ボタンを押し…)　(ENTER を押す)

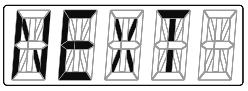
7. 更に ENTER ボタンをもう 1 回押すと、ALL と点滅表示します。再度曜日設定を行いますが、ここでは「4」で TIM01 に対して行った曜日設定と同じ設定をしてください｡−ボタンと＋ボタンで設定したい曜日を表示させ､ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押された曜日は､曜日の前に [＊] が表示されます。ALL を選択すると、全ての曜日に＊がつきます。選択が終了したら､−ボタンか＋ボタンで NEXT が表示されるまで送ります。表示されたら ENTER ボタンを押し、次の時刻設定に進みます。(曜日選択をしないと次に進むことはできません。)

曜日を選択



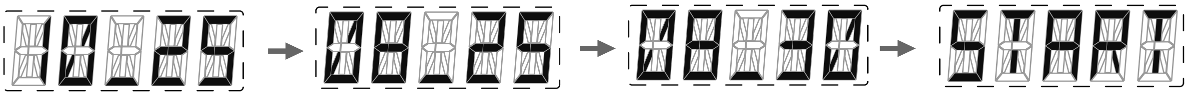
(毎日)　(日曜日)　(月曜日)　(火曜日)　(水曜日)

(時刻設定に進む)　(タイマー削除)　(土曜日)　(金曜日)　(木曜日)



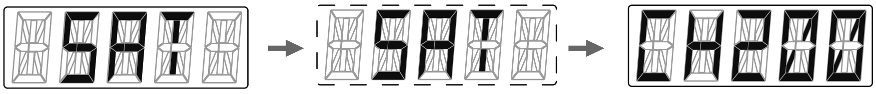
(ここで ENTER)

8. 前項で NEXT から ENTER ボタンを押すと、時刻設定に入ります。ここでは8時 30 分から 12 時ちょうどまでタイマープレイを設定すると仮定しました。ここまでで、終了時間までの設定を終えていますから、開始時間を設定します。現在の表示は現在時刻になっていますので､−ボタンか＋ボタンで　08　となるまで送り、ENTER ボタンで確定させせます。続いて､−ボタンか＋ボタンで　30　となるまで送り、ENTER ボタンで確定させせます。



(現在時刻)　(時間から設定)　(分数を設定)　(ENTER 押下後)

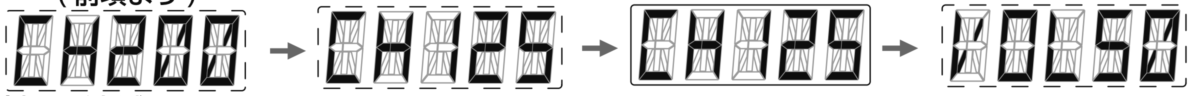
9. 続けて ENTER ボタンをもう 1 回押し、SAT と点滅表示させせます。この状態でもう 1 度 ENTER ボタンを押します。点滅が止まりますので、さらに 1 回 ENTER ボタンを押します。



(ここで ENTER、SAT の表示が点滅)　(さらに ENTER、SAT の表示が点灯)　(ENTER 押下後)

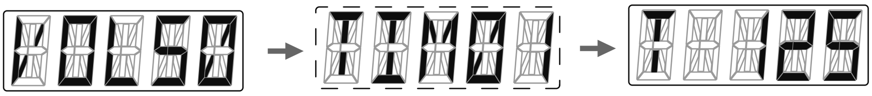
10. 前項の操作で表示はチャンネル番号になっています。ここでーボタンか＋ボタンを押し、目的のチャンネル番号に変更してください。チャンネル変更後、ENTER ボタンを２回押して確定します。

（前項より）



（表示が点滅、＋,ーボタンを押し…）　（目的 CH を選択）　(ENTER２回）　(ENTER 押下後）

11. 続いてボリューム設定の表示になります。＋もしくはーボタンで希望の音量に変更し、ENTER ボタンを２回押してください。表示が TIM01 に戻ります。その後、MENU ボタンを押すと設定は終了です。なお、タイマープレイが設定されている場合、画面の左下に T マークが表示されます。



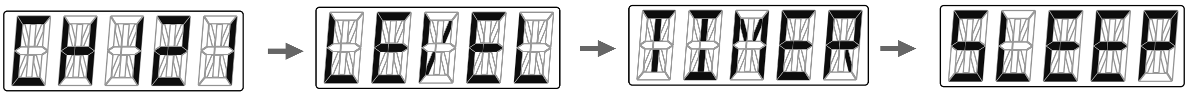
(ENTER を押す）　（ここで MENU)　（通常状態）

タイマープレイ設定を全て削除するには…

TIM01 ～ TIM16 に設定されたタイマープレイを全て削除する手順についてご案内します。TIM＊＊に対して個別に削除することもできます。個別削除の方法は次項にてご案内しております。

タイマープレイ設定を全て削除すると元に戻すことはできません。もし、一時的にタイマープレイを使用したくない場合は前項「タイマープレイについて」の手順２においてタイマープレイを無効にしてください。設定内容は保持されたままタイマープレイ機能を OFF にできます。

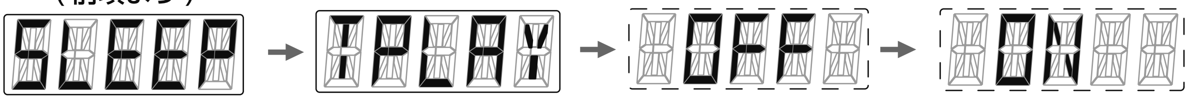
1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、ーボタンと＋ボタンで TIMER という表示に切り換えます。MENU ボタン押下後、ーボタンで送ると２回、＋ボタンで送ると５回押すと TIMER 表示になります。TIMER 表示になったら ENTER ボタンを押します。



（起動後）　(MENU 押下後）　(ーと＋で送り…)　(ENTER 押下後、表示が点滅）

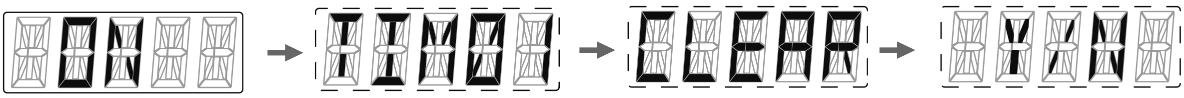
2.SLEEP と表示されている状態で、ーボタンか＋ボタンを１回押します。TPLAY という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。もう１度ーボタンか＋ボタンを１回押し、ON 表示に変えます。

（前項より）



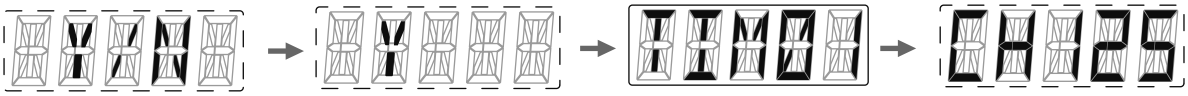
（ーボタン１回、表示が点滅）　(ENTER 押下後、表示が点滅）　（ーボタン１回、表示が点滅）

3. 前項で ON 表示にしたら、ENTER ボタンを押します。すると、点滅から点灯に変わります。この状態で、さらに ENTER ボタンを１回押すと、TIM01 という表示に変わります。ーボタンか＋ボタンを何度か押し、表示が CLEAR になるまで送ります。CLEAR が表示されたら ENETR ボタンを２回押します。すると、Y/N の表示になります。



(ENTER 押下後、表示が点灯）　（ーボタンで選択）　(ENTER２回）　（押下後）

4. 前項の操作で表示は Y/N の表示になっています。Y が点滅している状態で ENTER ボタンを押します。
Y だけの表示になりますので更に ENTER ボタンを押します。これで削除されました。MENU ボタンを押し、通常表示に戻します。

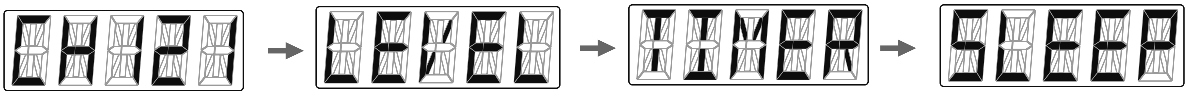


(ENTER を押す、Y が点滅)　(ENTER 押下後、表示が点滅)　(MENU を押す)　(通常表示)

タイマープレイ設定を個別に削除するには…

TIM01 ～ TIM16 に設定されたタイマープレイを個別に削除する手順についてご案内します。

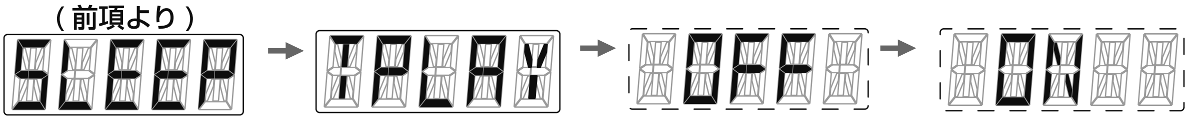
1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、－ボタンと＋ボタンで TIMER という表示に切り換えます。
MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると 2 回、＋ボタンで送ると 5 回押すと TIMER 表示になります。
TIMER 表示になったら ENTER ボタンを押します。



(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後、表示が点滅)

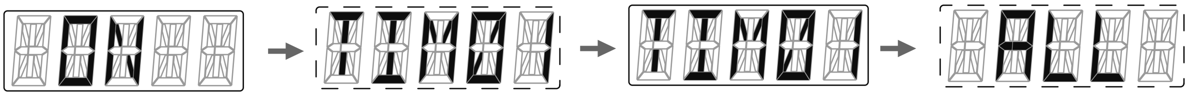
2.SLEEP と表示されている状態で、－ボタンか＋ボタンを 1 回押します。TPLAY という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。もう 1 度－ボタンか＋ボタンを 1 回押し、ON 表示に変えます。

(前項より)



(－ボタン 1 回、表示が点滅)　(ENTER 押下後、表示が点滅)　(－ボタン 1 回、表示が点滅)

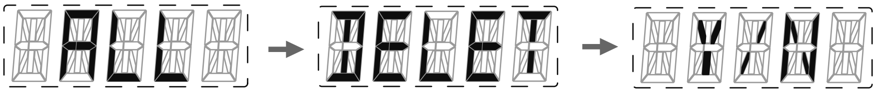
3. 前項で ON 表示にしたら、ENTER ボタンを押します。すると、点滅から点灯に変わります。この状態で、さらに ENTER ボタンを 1 回押します。TIM01 という表示に変わります。－ボタンか＋ボタンを押すことで、TIM01 ～ TIM16 まで選ぶことができます。ここで、個別に削除したい TIM 番号を選択してください。ここでは仮に TIM01 を選択します。TIM01 が表示されたら ENTER ボタンを 2 回押します。



(ENTER 押下後、表示が点灯)　(－ボタンで選択後、01 が点滅)　(ENTER 押下後、01 が点灯)　(ENTER 押下後、表示が点滅)

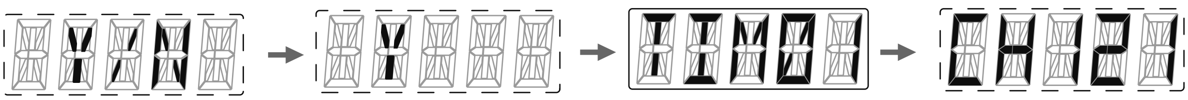
4.ALL と点滅表示している状態で、－ボタンか＋ボタンを何度か押し、DELET が表示されたら ENTER ボタンを押します。

(前項より)



(－ボタン 1 回、表示が点滅)　(ENTER 押下後)

5. 前項の操作で表示は Y/N の表示になっています。Y が点滅している状態で ENTER ボタンを押します。Y だけの表示になりますので更に ENTER ボタンを押します。これで削除されました。MENU ボタンを押し、通常表示に戻します。



(ENTER を押す、Y が点滅)　(ENTER を押す)　(MENU を押す)　(通常表示)

4.2 便利な機能を使う－スリープタイマー機能－

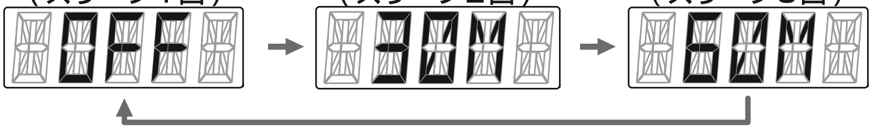
おやすみ前の BGM として本機を使用する際、便利な機能です

スリープタイマー機能について

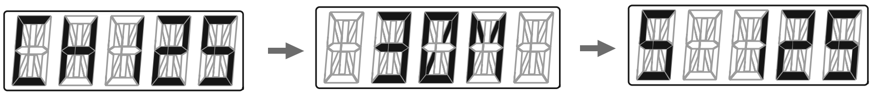
スリープタイマー機能とは、本機を聴いている状態で、あと何分後に電源を落とすかを設定できる機能です。設定時間は 30 分、60 分のいずれかです。本体前面のボタンでも設定できますが、スリープタイマーはリモコンのほうが簡単に設定できるので、ここではリモコンによる設定方法についてご案内します。

1. 本機の電源を入れ、任意のチャンネルを受信している状態にします。そこで、リモコンのスリープボタンを押します。このボタンを何度か押すと、表示が次のように変わっていきます。

（スリープ 1 回）（スリープ 2 回）（スリープ 3 回）



2. 30 分か 60 分かスリープ設定したい時間表示でリモコンの決定ボタンを押します。すると、チャンネル表示に S が付きます。これでスリープ設定は完了です。

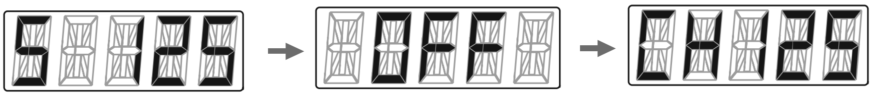


（通常表示）（スリープ 2 回）（決定押下後）

スリープタイマーを解除する

設定されたスリープタイマーを解除するには次の操作を行います。

リモコンのスリープボタンを 1 回押します。OFF が表示されたら、リモコンの決定ボタンを押します。チャンネル表示の S が消えます。これでスリープは解除されました。



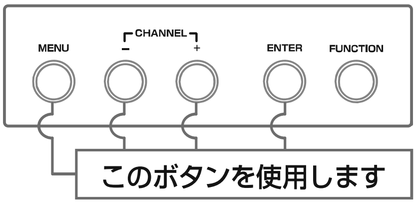
（通常表示）（スリープ 1 回）（決定押下後）

5.1 その他の設定をする－表示の明るさを調整する－

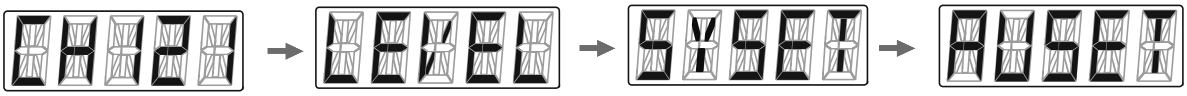
フロントの LED ディスプレイは明るさを調整できます

明るさ調整について

フロントパネルの LED ディスプレイは部屋の照度により、明るく感じたり、暗く感じたりする場合があります。そうした場合は、LED ディスプレイの明るさを 調整できます。



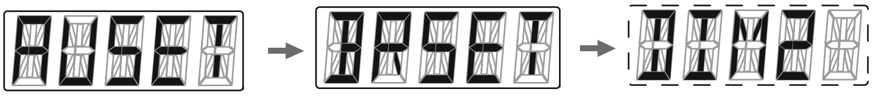
1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、−ボタンと＋ボタンで SYSET という表示に切り換えます。MENU ボタン押下後、−ボタンで送ると 4 回、＋ボタンで送ると 3 回押すと SYSET 表示になります。SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。



(起動後)　(MENU 押下後)　(−と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2. AUSET と表示されている状態で、＋ボタンを１回押します。BRSET という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

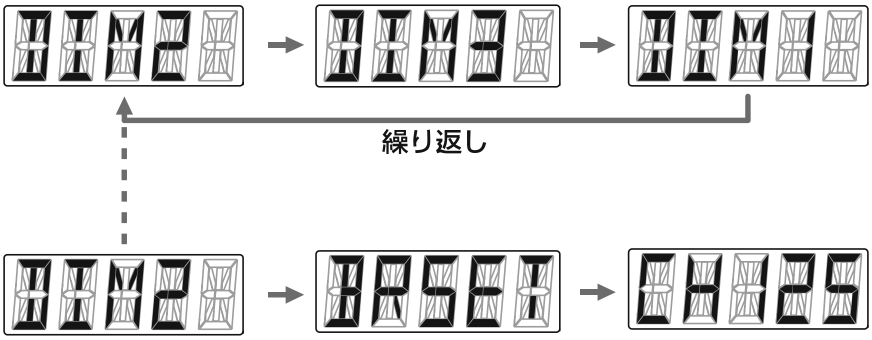
(前項より)



(＋ボタン１回)　(ENTER 押下後)

3. −ボタンか＋ボタンを押し、DIM１から DIM３まで、お好みの明るさに変更します。−ボタンか＋ボタンで明るさを変更すると、次のように表示が変わり、明るさも応じて変わっていきます。お好みの明るさのところで Enter ボタンを押します。MENU ボタンを押し、チャンネル表示に戻ります。

(前項より)　(＋ボタン１回)　(＋ボタン１回)



(ENETR 押下後)　(MENU を押し…)　(通常表示)

5.2 その他の設定をする－リモコンを無効にする－

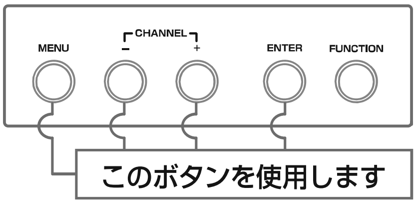
本機のリモコン機能を無効にできます

リモコンの無効設定について

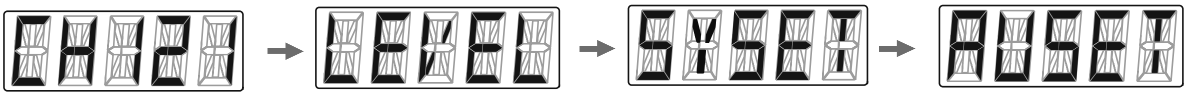
ミュージックバード対応チューナーのリモコンは一部の機能を除き、全機種共通で使えます。その為、複数台のミュージックバード対応チューナーを設置していると、意図しないチューナーがリモコン操作に反応することがあります。

その場合、本機のリモコン機能を無効にするか、意図しないほうのチューナーのリモコン機能を無効にすることで、目的チューナーのみ、リモコンを機能させることができます。

本機においてリモコンの無効設定をする場合は次の手順で設定します。



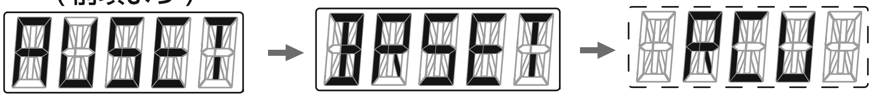
1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、ーボタンと＋ボタンで SYSET という表示に変えます。
MENU ボタン押下後、ーボタンで送ると４回、＋ボタンで送ると３回押すと SYSET 表示になります。
SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。



(起動後)　(MENU 押下後)　(ーと＋で送り…)　(ENTER 押下後)

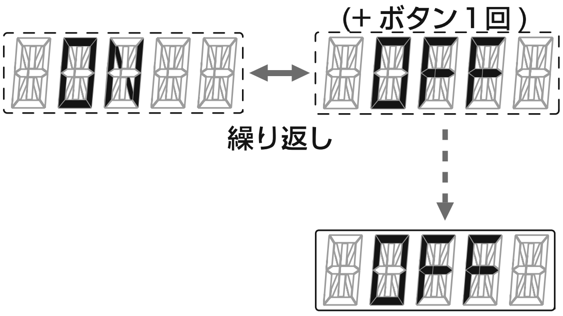
2.AUSET と表示されている状態で、ーボタンを１回押します。RCU という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

(前項より)



(＋ボタン１回)　(ENTER 押下後)

3.ON と表示されますので､ーボタンか＋ボタンを１回押し、OFF 表示に変えます。（リモコン無効設定の状態から有効にしたいときはここで ON にしてください。）OFF 表示になったら ENTER を押します。



(ENETR 押下後)

4. さらに ENTER ボタンを押し、設定を確定させます。表示が RCU に戻りますから、MENU ボタンを１回押し、チャンネル表示に戻します。これで設定は完了です。

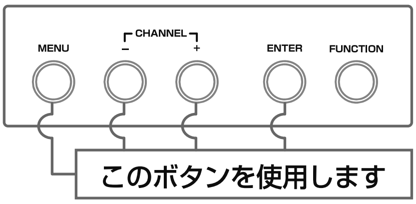
(ENTER を押し…)　(ここで MENU)　(通常表示)

5.3 その他の設定をする－スタート CH を設定する－

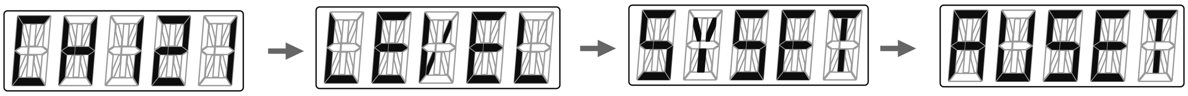
本機を起動したとき、いつも特定のチャンネルを受信するように設定します

スタートチャンネルの設定について

本機の電源を ON にしたときに、特定のチャンネルを受信するよう設定できます。工場出荷時は前回電源を切ったときのチャンネル（ラストチャンネル）になっています。リスニングスタイルに応じて変更してください。



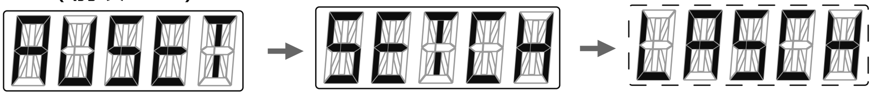
1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、－ボタンと＋ボタンで SYSET という表示に変えます。
   MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると４回、＋ボタンで送ると３回押すと SYSET 表示になります。
   SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。



(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2.AUSET と表示されている状態で、－ボタンを２回押します。SETCH という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

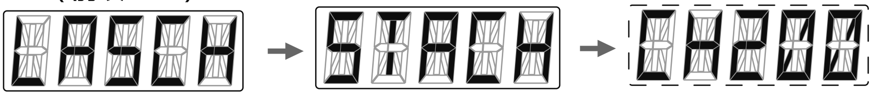
(前項より)



(－ボタン２回)　(ENTER 押下後)

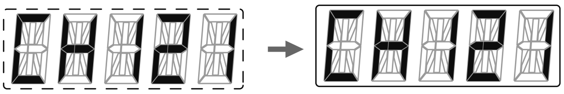
3.LASCH と表示されますので、－ボタンか＋ボタンを１回押し、STACH 表示に変え、ENTER を押します。

(前項より)



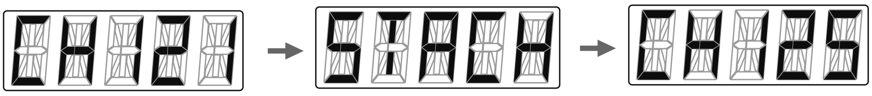
(+ ボタン１回)　(ENTER 押下後)

4.－ボタンか＋ボタンでスタートチャンネルに設定したいチャンネルに合わせます。合わせたいチャンネルに設定したら ENTER ボタンを押します。



(表示が点滅、CH を設定し…)　(ENTER 押下後、表示が点灯)

5. さらに ENTER ボタンを押し、設定を確定させます。表示が RCU に戻りますから、MENU ボタンを１回押し、チャンネル表示に戻します。これで設定は完了です。

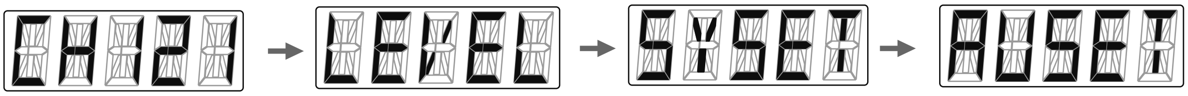


(ENETR を押し…)　(ここで MENU)　(通常表示)

ラストチャンネルに設定する（元に戻す）

スタートチャンネルの設定を工場出荷時の設定（ラストチャンネル）に戻したい場合は、次の手順で設定してください。

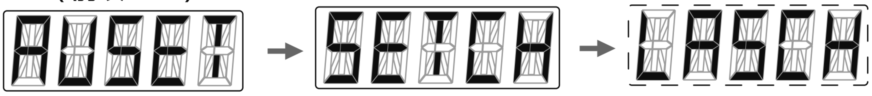
1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、－ボタンと＋ボタンで SYSET という表示に変えます。
MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると 4 回、＋ボタンで送ると 3 回押すと SYSET 表示になります。
SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。



(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

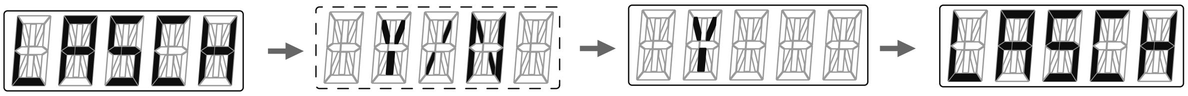
2.AUSET と表示されている状態で、－ボタンを 2 回押します。SETCH という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

(前項より)



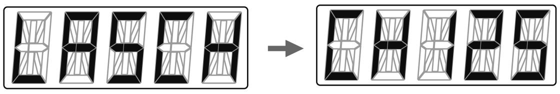
(－ボタン 2 回)　(ENTER 押下後)

3.LASCH と表示されますので、ENTER を押します。表示が Y/N になりますので、－ボタンか＋ボタンを 1 回押し、Y を点滅状態にさせ、ENTER を押します。Y だけの表示に変わりますのでさらに ENTER を押します。



(ENTER 押下後)　(－ボタン 1 回)　(ENTER 押下後)　(ENTER 押下後)

4. 表示が LASCH に戻りますから、MENU ボタンを 1 回押し、チャンネル表示に戻します。これで設定は完了です。



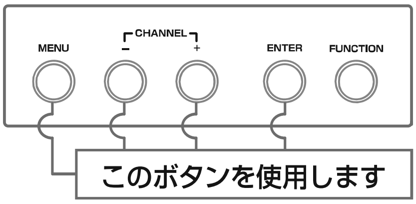
(ここで MENU)　(通常表示)

5.4 その他の設定をする－番組情報を更新する－

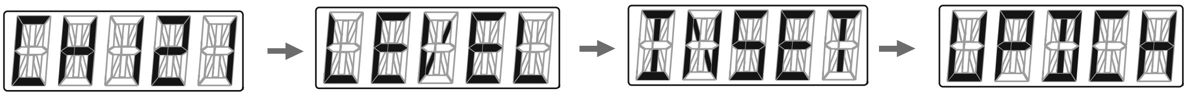
必要な場合のみに実施します

番組情報の更新について

チャンネル表示にならない時など、番組情報の更新が必要な場合があります。
番組情報を更新する場合は次の手順で行います。

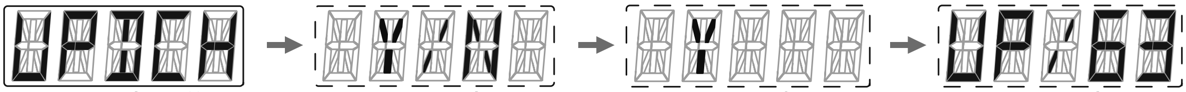


1．本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、－ボタンと＋ボタンで INSET という表示に変えます。
MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると 5 回、＋ボタンで送ると 2 回押すと INSET 表示になります。
INSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。



(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2.UPDCH と表示されている状態で、ENTER ボタンを押します。続いて Y/N の表示になり、Y が点滅されている状態で、ENTER ボタンを押します。すると、表示が Y だけになりますので、ここでさらにもう 1 度 ENTER ボタンを押します。押下後、更新が始まります。



(ENTER 押下後)　(ENTER を押す)　(ENTER を押す)　(ENTER を押す)

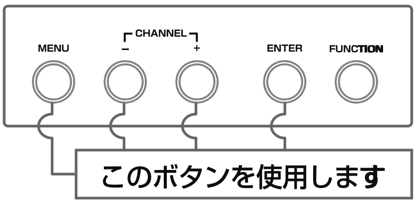
3. 更新処理が完了すると、自動的に CH200 を受信します。これで作業は完了です。

6.1 困ったときは　－工場出荷設定に戻す－

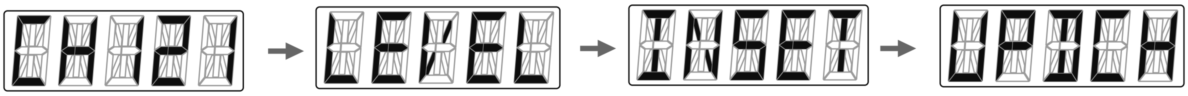
誤って不要な設定をしてしまい、お困りのときは工場出荷設定に戻してください

工場出荷設定について

　本機チューナー基板に実装されているソフトウェアには、ミュージックバード対応チューナー全般に汎用的に対応させるため、本機には適合しない設定項目が含まれております。本機に適合しない設定については本書であえて扱っておりませんが、もし、設定操作を誤り、うまく受信できなくなったり、音が出なくなったりした場合は、本項の手順で工場出荷設定に戻し、再度 3.7 項 2（16 ページ）の初期設定から設定をし直すことを推奨します。
　なお、この操作を行うと、これまでに行った設定は全てクリアされます。

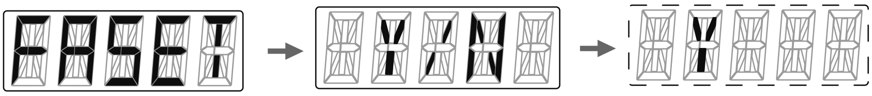


1．本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、－ボタンと + ボタンで INSET という表示に変えます。
　MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると 5 回、+ ボタンで送ると 2 回押すと INSET 表示になります。
　INSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。



(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2.UPDCH と表示されている状態で、－ボタンか＋ボタンを２回押します。FASET という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。続いて Y/N の表示になり、Y が点滅されている状態で、ENTER ボタンを押します。すると、表示が Y だけになりますので、ここでさらにもう 1 度 ENTER ボタンを押します。



(－ボタン２回)　(ENTER 押下後)　(ENTER 押下後)

3. 工場出荷状態に戻り、チューナーが再起動し、初期設定を行う状態になります。
　初期設定方法については 3.7 項 2（16 ページ）項をご参照ください。

工場出荷時の設定内容一覧表

項目	設定値		備考
コンバーター電源供給設定	常時供給	OFF	初期設定が完了するまでは OFF になっています
コンバーター周波数設定	11300MHz	11300	
受信周波数設定	12658MHz	12658	
シンボルレート設定	21096Ksps	21096	
アンテナコンバーター動作電圧	11V	1	
最大音量設定（衛星受信）	50(最大)	50	本機では無効な項目です
最大音量設定（外部入力）	50（最大）	50	本機では無効な項目です
明るさ設定	標準	DIM2	
バックアップ時間	オフ	OFF	本機では必ずオフで使用してください
切替レベル設定	25	25	本機では無効な項目です
スタートチャンネル設定	ラストチャンネル	LASCH	
スリープタイマー機能	オフ	OFF	
タイマープレイ機能	オフ	OFF	
入力設定	衛星受信	SAT	
音量設定	30	VOL30	本機では無効な項目です
リモコン設定	リモコン利用可	ON	
バックアップ電源供給設定	常時 OFF	OFF	本機では必ず常時 OFF で使用してください
オーディオモード	ステレオ	STERE	本機では無効な項目です

6.2 困ったときは　－エラー表示一覧表－

エラー表示		対処方法
A001	A001	信号を受信できていません。悪天候の場合は回復するまでお待ちください。そうでない場合は､アンテナ入力端子の接続をご確認ください。
A002	A002	コンバーター電源がショートしています｡本機の電源ケーブルを抜き、アンテナケーブルの接続をご確認ください。
A003	A003	本機では使用していないエラーコードです。
A004	A004	スマートカードを挿入してください。
A005	A005	スマートカードの挿入方向が誤っています。3.2 項を参照の上、正しく挿入してください。
A006	A006	ご契約されていないチャンネルか、スクランブルが掛かっています。ミュージックバードカスタマーセンターにご連絡ください。
A007	A007	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。
A008	A008	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。
A009	A009	スクランブルが掛かっています。ミュージックバードカスタマーセンターにご連絡ください。
A010	A010	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜いて本機とペアになっているカードか、チューナー背面のバーコードのシールに記載しているカードＩＤと合っているか確認し、正しいＩＤカードをセットしてください。
A011	A011	スマートカードがペアリングされていません。カスタマーセンターにご連絡ください。
A012	A012	スマートカードが停止中です。カスタマーセンターにご連絡ください。
A013	A013	要注意指定されたスマートカードです。カスタマーセンターにご連絡ください。
A014	A014	スマートカードが無効です。カスタマーセンターにご連絡ください。
A015	A015	スマートカードが応答しません。カスタマーセンターにご連絡ください。
A016	A016	スマートカード通信エラーです。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。

●上記の対処方法で解決しない場合はミュージックバードカスタマーセンターにご相談ください。

6.3 困ったときは　ー症例別ー

誤って不要な設定をしてしまい、お困りのときは工場出荷設定に戻してください

表示がおかしい

本機の LED ディスプレイが正常な表示をしていない場合、次のことを確認してください。
Aから始まるエラーコードを表示している場合は6.2項を参照してください。

本機の状態	対処方法
UPDCH から変わらない	受信できていません。レベルを確認し、3.8 項を参照しアンテナの微調整を行ってください。
LEVEL から変わらない	番組情報更新が正常に完了していません。5.4 項を参照し、番組情報更新を行ってください。
E001 や E002 と表示されている。	電源ケーブルを一旦抜いて、再度指し直してください。それでも改善されない場合は修理をご依頼ください。
チャンネル表示が点滅している。	リモコンの消音ボタンが押されています。リモコンの消音ボタンを押して解除してください。
KEYLO という表示になる。	ボタン操作を受け付けない設定になっています。本体の FUNCTION ボタンを押しながら MENU ボタンを３秒以上押してください。
表示がAUXになって、音が出ない。	リモコンの外部入力ボタン（右上）が押されたことが原因です。本機にリモコンを向けて、もう一度、外部入力ボタンを押してください。

音が出ない！

本機の LED ディスプレイは正常な表示をしているのに音声が出ないときは次のことを確認してください。

本機の状態	対処方法
レベルはあるのに音が出ない。	オーディオ機器との接続を確認してください。正常に接続されている場合、異なる衛星を受信していることが考えられます。3.8 項を参照しアンテナの調整を行ってください。
チャンネル表示と AUX を交互に繰り返している。	リモコンなどで本機で使用しないモードに入っています。6.1 項を参照の上、工場出荷設定に戻してください。

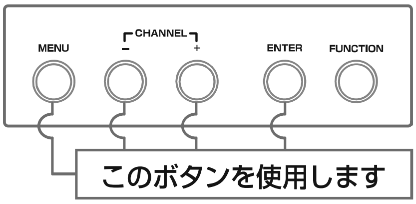
リモコンで操作できない

本機の状態	対処方法
リモコン操作をしても反応しない。	リモコン動作を無効にする設定になっている可能性があります。5.2 項を参考にし、リモコンを有効にしてください。

7 よくある質問－A001 が出て受信できない－

A001 という表示で受信できないときはコンバータの局部発振周波数を確認します

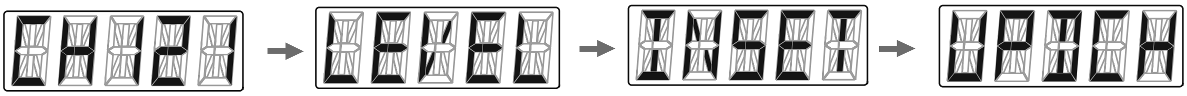
A001 エラーについて



A001 エラーはご使用のアンテナで衛星の受信ができていないことを示しています。ほかのミュージックバードチューナーで受信できる、もしくは過去にできていた場合は、本機に設定されているコンバーターの局部発振周波数の設定に誤りがある場合が多々あります。

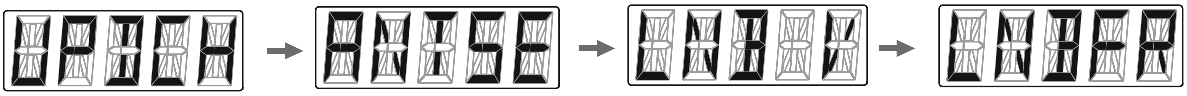
ミュージックバード対応アンテナは通常 11200MHz（11.2GHz）か 11300MHz（11.3GHz）のいずれかです。初期設定の段階で 11.2GHz に設定されている場合は 11.3GHz の設定を、11.3GHz の設定をされている場合は 11.2GHz の設定を下記手順に従いお試しください。

1．本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、ーボタンと＋ボタンで INSET という表示に変えます。
MENU ボタン押下後、ーボタンで送ると 5 回、＋ボタンで送ると 2 回押すと INSET 表示になります。
INSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。



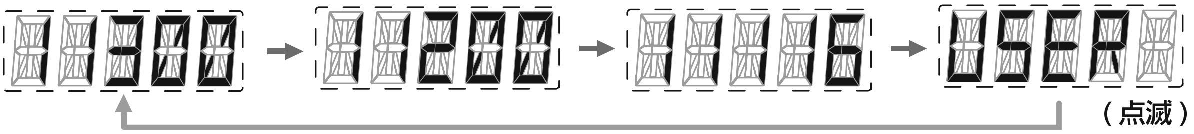
(起動後)　(MENU 押下後)　(ーと＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2.UPDCH と表示されている状態で、＋ボタンを 1 回押します。ANTSE という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。さらに＋ボタンを 1 回押し、LNBFR を表示させて ENTER ボタンを押します。



(＋ボタン１回)　(ここで ENTER)　(＋ボタン１回)　(ここで ENTER)

3．点滅している値はアンテナの局部発振周波数を示しています。お使いのアンテナの取扱説明書などに記載の周波数に、本機のー（マイナス）ボタンと＋（プラス）ボタンで合わせます。これらのボタンを押すたびに表示が次のように変わります。



(点滅)

当社、推奨アンテナ DMB4503 は 11300 です。お使いのアンテナの周波数を表示させたら、ENTER ボタンを押します。点滅が停止しますので、もう一度 ENTER ボタンを押すと LNB FR の表示に変わります。

> **USER について**
>
> “USER” が点滅しているときに ENTER ボタンで決定すると、アンテナの局部発振周波数をリモコンの数字ボタン（0～9）で入力することができます。入力中は点滅表示になります。入力後、ENTER ボタンで確定します。

４.MENU ボタンを押し、チャンネル表示に戻します。設定が変更されていますので、受信できるかどうかを確認してください。

8 本機の仕様

受信範囲	950MHz ～ 2150MHz（2MHz ステップ）　（JCSAT-2A）	
入力端子	アンテナ入力端子	Ｆ型　１系統
	アナログ（RCA）	１系統
音声出力端子	アナログ（RCA）	１系統
	同軸デジタル	２系統
	光デジタル	２系統
電源	AC100V	
消費電力	10W	
外形寸法	幅430mm　高さ90mm　奥行220mm	
重量	3.5 kg	
主な付属品	リモコン・電源ケーブル・ステレオピンコード・スマートカード・取扱説明書	

注）仕様は改良のため予告なく変更されることがございます

9 お問い合わせ先

ミュージックバードカスタマーセンター　　TEL.03-3221-9000

受付時間
（平日）10:00 ～ 19:00 (12:00 ～ 13:00 除く)
（土日祝日）10:00 ～ 18:00 (12:00 ～ 13:00 除く)

＊メールでのお問い合わせは　e-mail@musicbird.co.jp　まで

保証とアフターサービス

製品保証書

品名： CS Digital Tuner MDT-3CS
保証期間： お買い上げから１年間

チューナーＩＤ

カードＩＤ

ここにラベル貼付されていないものは無効です

本保証書は保証期間中、以下の無償保証規定に定める範囲内で、本製品に修理依頼時と同様の障害が発生した場合に限り、無償修理をお約束するものです。
本保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間内外に関わらず、当該製品におけるアフターサービスのご相談はお気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

株式会社ミュージックバード
〒102-0083 東京都千代田区麹町1-8　JFNセンター5階

[無償修理保証規定]

1. 保証期間中に取扱説明書などに記載されている使用上の注意書きに従った正常な使用状態で本製品が故障した場合には、修理対象品が弊社に持ち込まれた段階で、弊社がその障害の発生を認めるとき、弊社は本規定に従い、無償で修理を行うものとします。無償修理をご依頼される場合には必ず本書をご提示ください。本保証書が無い場合は無償修理いたしかねる場合がありますので予めご了承ください。
2. 無償修理をご依頼いただく際の送料は実費御負担いただく場合があります。
3. 次のような場合、無償修理保証の対象外とします。

（1）製品の取り扱い説明書が定める通常の利用環境において使用または保管されていなかった場合
（2）地震、火事、洪水、落雷、停電など災害を原因とする障害
（3）運送中の事故、製品の落下など製品に対する外部からの要因による障害
（4）弊社発行の保証書に改ざんが見られる場合
（5）ご提出いただいた保証書と弊社に保管されている修理記録に不一致が見られる場合
（6）弊社が認識していない改造が施されている場合

4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＜発行元＞

株式会社ミュージックバード

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-8　JFNセンター5階